



取扱説明書

Multimedia Manager™

PXI-H990

IONBUS™



安全にお使いいただくために

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになった後も、説明書を手元に置いてご使用ください。説明書の指示を守らなかったことによる不具合に対して、当社は責任を負いかねます。
- この説明書は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

分解・改造をしないでください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止

ネジなどの小物類は、幼児の手の届かないところに保管してください。飲み込んだ場合には、ただちに医師と相談してください。



ヒューズ交換は、規定容量（アンペア数）を守ってください。事故・火災の原因になります。



禁止



強制

音が出ない、異物が入った、煙が出る、変な臭いがしたときには、ただちに使用を中止して、お買い上げ店に相談してください。事故・火災・感電の原因になります。



禁止



強制

**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

車外の音が聞こえる音量でお使いください。事故・故障の原因になります。



車以外には使わないでください。感電・ケガの原因になります。



禁止

取り扱い上のご注意

本機の近くでは携帯電話や無線機を使わない

雑音や誤動作の原因になる場合があります。電話や無線機は、本機から離れてご使用になることをお勧めします。また、リモコンスターターも誤動作の原因になる場合があります。

無理な力を加えない

製品は、精密な部品を用いて精密に組み立てられています。初期の性能を維持するためにやさしく丁寧な取り扱いをお願いいたします。

本機は国内で使う

本機は国内でのみお使いいただけます。外国ではお使いになれません。

お手入れは乾いた布を使う

お手入れは乾いた布か堅く絞った布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの化学薬品は絶対に使わないでください。

極端な温度では使わない

車内の温度が極端に高い（炎天下駐車）ときや低い（厳冬期駐車）ときは、常温になってからお使いください。

安全にお使いいただくために	2
目次	4

はじめに

本機の操作について	5
この説明書の見方	6
電源のON/OFF	7
スピーカーの設定をする (SP SELECT)	7
補足説明	11

自動調整

自動調整の準備	12
Road EQを使う	14
自動的に時間補正を行う (AUTO TCR)	19
補足説明	23

設定／調整

手動で時間補正を行う (TCR)	24
イコライザーの調整	30
クロスオーバーネットワークとは	38
クロスオーバーネットワークの調整／位相切りかえ	40
MXの設定	45
補足説明	49

マルチチャンネル機能を使う

マルチチャンネル機能の調整手順	50
スピーカーセットアップ (Dolby SP)	51
スピーカーレベルを調整する (OUTPUT LEVEL)	55
音像を調整する (BI PHANTOM)	58
フロントL/Rにセンターの低域音声をミキシングする (C. BASS SPLIT)	61
リアに低域音声をミキシングする (REAR MIX)	64
リアにフロントの信号を出力する (REAR FILL)	67
迫力のある大音量再生を楽しむには (LISTEN MODE)	70
DVDレベルを調整する (DVD LEVEL)	72
6.1チャンネルの設定 (6.1CH MODE)	75
PCM出力の設定 (PCM OUT MODE)	78
補足説明	86

便利な機能

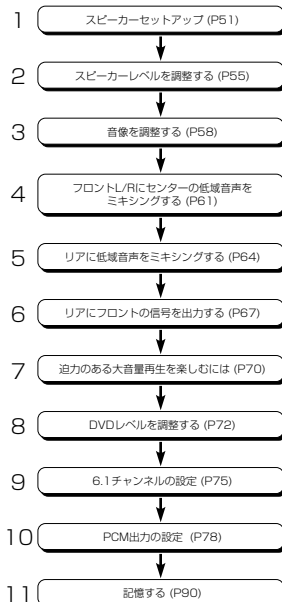
外部入力の設定	88
記憶する	90
記憶した値の呼び出し	93
イコライザーの調整 (DVI-9990J／TVI-T990接続時のみ)	96
補足説明	101

その他

モニターディスプレイ表示について	102
用語解説	103
故障かな？と思ったら	104
規格	106
保証について	108
お問い合わせ窓口	109
メニュー階層	110
索引	111

ドルビーデジタルやDTSサウンドをより正確に再現するには下記調整を行ってください。

<調整手順>



はじめに

本機の操作について

本機の操作は、組み合わせたヘッドユニットから行います。
この説明書では、ヘッドユニットからの操作を、本体操作とリモコン操作で合わせて記載しています。

- 本機の操作は、ヘッドユニットのセットアップ操作から行います。
設定／調整の操作方法については、下表の参照ページをご覧ください。
下記はヘッドユニットディスプレイでの表示になります。

M.M.Manager	AP SETUP	MOBILE.S.MGR	CROSSOVER	🔊 40 ページ	クロスオーバーネットワークの調整／位相切り替え
			TCR	🔊 19 ページ 🔊 24 ページ	自動的に時間補正を行う (AUTO TCR) 手動で時間補正を行う (TCR)
			EQ	🔊 30 ページ	イコライザーの調整
			Road EQ	🔊 14 ページ	Road EQ を使う
		MEDIA.S.MGR	MX	🔊 45 ページ	MX の設定
			DVD LEVEL	🔊 72 ページ	DVD レベルを調整する
		MULTI.CH.MGR	BI PHANTOM	🔊 58 ページ	音像を調整する
			C.BASS SPLIT	🔊 61 ページ	フロントL/Rにセンターの低域音声をミキシングする
			REAR MIX	🔊 64 ページ	リアに低域音声をミキシングする
			LISTEN MODE	🔊 70 ページ	迫力ある大音量再生を楽しむには
			OUTPUT LEVEL	🔊 55 ページ	スピーカーレベルを調整する
			REAR FILL	🔊 67 ページ	リアにフロントの信号を出力する
			6.1CH MODE	🔊 75 ページ	6.1 チャンネルの設定
			PCM OUT MODE	🔊 78 ページ	PCM 出力の設定
		SP SETUP	SP SELECT	🔊 7 ページ	スピーカーの設定をする
			Dolby SP	🔊 51 ページ	スピーカーセットアップ
		PRESET		🔊 90 ページ	記憶する
				🔊 93 ページ	記憶した値の呼び出し
	AUX SETUP			🔊 88 ページ	外部入力の設定

- ヘッドユニットの本体操作で行う場合、ヘッドユニットの本体表示を見ながら、ヘッドユニットの本体ボタンで操作します。リモコン操作で行う場合は、別売のモニター画面を見ながらヘッドユニット添付のリモコンで操作します。別売モニターと組み合わせていない場合は、本体ボタンから操作を行ってください。
- 接続については取付説明書をご覧ください。

この説明書の見方

本機の操作は、組み合わせたヘッドユニットから行います。
本書では、ヘッドユニットDVI-9990Jとヘッドユニットに添付のRUE-4198からの操作方法を記載しています。ヘッドユニット添付リモコンから本機を操作するときは、リモコン裏面の切りかえスイッチを“H/U”側に切りかえてください。

Alpine F1Status
設定／調整

リモコンアイコン
ヘッドユニット添付リモコンでの操作を示しています。
(別売モニター接続時のみ)

**ヘッドユニット
本体アイコン**
ヘッドユニット本体での操作を示しています。

ボタン名称
「」は、操作するボタンを意味します。

別売モニター表示
別売モニターと組み合わせ、ヘッドユニット添付リモコンから操作を行う場合、ヘッドユニット表示と異なるときに選択する項目を示しています。

3Secアイコン
指定リモコンボタンを3秒以上押すことを示しています。

次頁へ
操作内容が次ページへ続くことを示しています。

補足アイコン
別ページに補足内容があることを示しています。

クロスオーバーネットワークの調整／位相切りかえ

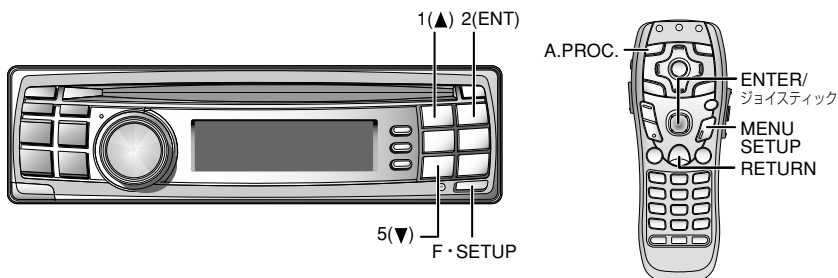
1 「[F・SETUP]」を3秒以上押す。

2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager] を選び、「2 (ENT)」を押す。

3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。

40

補 足 P46の補足説明もご覧下さい。



電源のON/OFF

本機には電源スイッチはありません。接続したヘッドユニットなどの電源ON/OFFと連動します。初めて電源をONにした場合やヘッドユニット側でリセットした場合は、スピーカー保護の為、次項目「スピーカーの設定をする」でシステムを選択するまで音がでません。次項目「スピーカーの設定をする」で設定を行ってください。

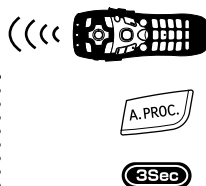
スピーカーの設定をする (SP SELECT)

はじめにシステムとスピーカーの設定を行ってください。システムの設定を行わないと他の設定が全てできませんので必ず設定してください。ただし、システム設定は、選択したシステムとスピーカーの接続位置（取付説明書参照）が間違っている場合、スピーカーが壊れる可能性があります。必ずスピーカーの接続を確認してからシステムを選択してください。

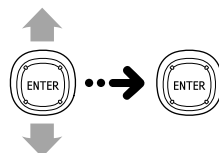
接続していないスピーカーはOFFにします。



- 1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。

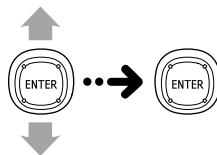


次頁へ続く→

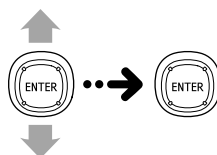
はじめに

スピーカーの設定をする (SP SELECT) (つづき)

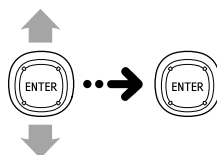
- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



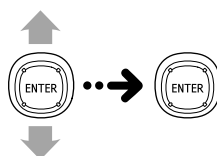
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
SP SETUP [Speaker Setup]を選び「2 (ENT)」
を押す。



- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
SP SELECT [Speaker Select]を選び、
「2 (ENT)」を押す。

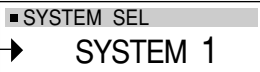


- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、SYSTEM
SEL [System Select]を選び、「2 (ENT)」を
押す。



7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、システムを選び、「2 (ENT)」を押す。

現在設定
されている
項目を示し
ています。



	本機を1台接続			本機を2台接続	
	SYSTEM 1	SYSTEM 2	SYSTEM 3	SYSTEM 4(FRONT)	SYSTEM 4(REAR)
CH-1	F TW L	F TW L	FRNT L ※1	F TW L	R TW L
CH-2	F TW R	F TW R	FRNT R ※1	F TW R	R TW R
CH-3	F WF L ※1	F MID L ※2	FRNT C	F MID L ※2	R WF L
CH-4	F WF R ※1	F MID R ※2	SUBW.1	F MID R ※2	R WF R
CH-5	REAR L	F WF L ※2	REAR L	F WF L ※2	R TW C
CH-6	REAR R	F WF R ※2	REAR R	F WF R ※2	R WF C
CH-7	FRNT C	SUBW.1	REAR C	F TW C	SUBW.1
CH-8	SUBW.	SUBW.2	SUBW.2	F WF C	SUBW.2

※1 OFF設定はありません。

※2 MIDとWFの両方をOFFにすることはできません。

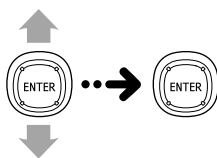
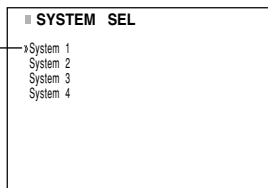
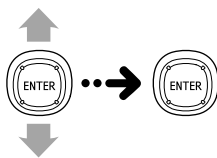
どちらか一方をOFF設定にした場合、もう一方はOFF設定にすることができません。

- ツィーター (TW) は、上記表の“TW”表記のチャンネル以外には接続しないでください。スピーカー破壊の原因となります。
- SYSTEM1はREAR TWは接続できません。
- SYSTEM3はFRONT/REAR共にTW接続はできません。
- 本機を1台のみ接続している場合は、SYSTEM4は選択できません。また、本機を2台接続している場合は、SYSTEM1～3は選択できません。

続いて、スピーカーの設定を行います。

8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CH SELECT [Channel Select]を選び、「2 (ENT)」を押す。

9 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、接続しないスピーカーを選び、「2 (ENT)」を押す。



接続しないスピーカーを選ぶ。

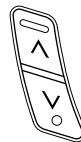
次頁へ続く→

スピーカーの設定をする (SP SELECT) (つづき)

- 10** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、OFFを選び、「2 (ENT)」を押す。

手順9、10を繰り返し接続していないスピーカー全てをOFFにする

■ CH SELECT
F TW L OFF



ON/OFFを切りかえる。

■ CH SELECT

Front TW Left ON
Front TW Right ON
Front WF Left ON
Front WF Right ON
Rear Left ON
Rear Right ON
Front Center ON
Subwoofer ON

- 11** 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



3Sec

補 足 P11の補足説明もご覧ください。

● 補足説明		このページにはP5～P10についての補足説明が記載されています。 ご参照下さい。
タイトル	説 明	関連ページ
スピーカーの設定をする (SP SELECT)	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	 7ページ

自動調整の準備

本機は自動調整機能として、「Road EQ」と「AUTO TCR」を搭載しています。この自動調整を行うには次の通り準備を行う必要があります。準備が整ったら「Road EQを使う」（14ページ）、「自動的に時間補正を行う（AUTO TCR）」（19ページ）を参照して自動調整を行ってください。

- 自動調整を行う際は、ヘッドユニットをTUNERモードにしてから調整を行ってください。

1 ヘッドユニットのディフューズがOFFであることを確認する。

2 ヘッドユニットとアンプのレベルを調整する。

ヘッドユニット：

バランス、フェダーを「センター」にする。

フロント／リア／センター用アンプ：

アンプ側のゲインを「センター」または「ノーマル」にする。リアスピーカーがない場合は、スピーカーの設定がOFFになっていることを確認する。（7ページ参照）

サブウーハー用アンプ：

アンプ側のゲインを「センター」または「ノーマル」にする。サブウーハーがトランク内や離れた所（ワゴン車の最後部）にある場合は、サブウーハーの調整で音量を数ステップ上げる。

3 添付のマイクを本機に接続する。

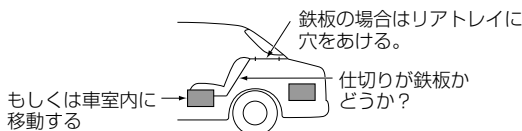
取付説明書参照

- Road EQ対応の別売のモニターと組み合わせRoad EQを使用する場合は、別売モニター内蔵のマイクを使用することができます。
- 本機を2台接続している場合は、2台両方にマイクを接続してください。この場合、別売モニター内蔵のマイクを使用することができません。

4 マイクを固定する。

不十分な固定は、歪みや定位不良の原因になる。サンバイザーなどに添付の金具でしっかりと固定する。

- マイクの位置で調整内容が変わります。好みの音質が得られる位置を探してください。
- サブウーハーがトランクにあり、鉄板でトランクと車室が仕切られている場合は、適切な調整ができません。
サブウーハーを車室内に移動するか、リアトレイに穴をあけるなどして空間をつなぐようにしてください。（仕切りが鉄板でなければこの作業は不要です）。

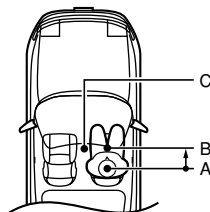


- 自動調整中はマイクの抜き差しを行わないでください。

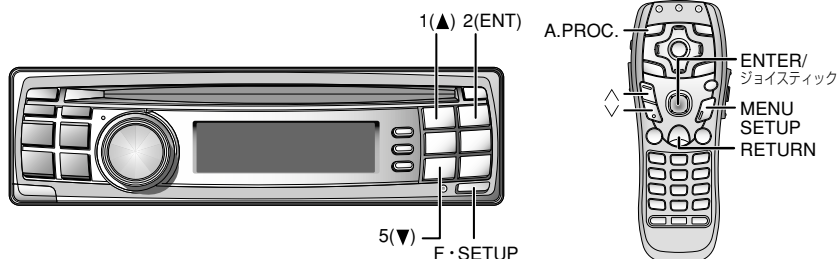
Road EQ使用時のコツ

Road EQでは常時変動する騒音に対応して補正を行うため、**マイクは常に接続、設置してください。**マイクの設置ポイントは次の3つをお勧めします。また、別売のモニターと組み合わせた場合、モニター内蔵のマイクを使用することができます。

- リスニングポイント真上の天井（運転席用ポジション ドライバー用により正確な補正ができます）
- サンバイザー（運転席用ポジション）
- ルームミラーの付け根（運転席、助手席共用ポジション）



- 本機を2台接続している場合は、各々に接続した2つのマイクを同じ場所に設置してください。



Road EQを使う

Road EQ (REAL-TIME OPTIMIZED ADAPTIVE DRIVING EQ) とは、走行中のロードノイズ量に合わせてEQ特性を自動調整する機能です。

Road EQを使用するには、初めにマイクを接続してください。（「自動調整の準備」12ページ参照）

別売のRoad EQ対応モニターと組み合わせた場合は、モニター内蔵のマイクを使用することができます。その場合は、本機付属のマイクを接続できません。また、本機を2台接続している場合は、別売モニター内蔵のマイクは使用できません。

Road EQ操作は、次の手順で行ってください。

- A マイクの選択
- ↓
- B 車室内周波数特性の測定
- ↓
- C Road EQのON/OFF設定
- ↓
- D モードの選択

- 車室内周波数特性の測定は、測定に入る前に、外部の音の影響を避けるために静かな場所に車を置き、車のキーをACCのポジションにしてください。
（振動により適切な測定値が得られない場合があるのでエンジンにはかけないでください）
ただし、バッテリー上がりの恐れがありますので、ご注意ください。
- Road EQ使用時は、マイクを外さないでください。

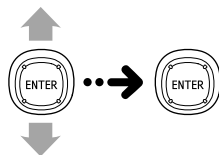
補 足 P23の補足説明もご覧ください。



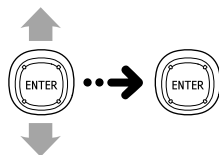
1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



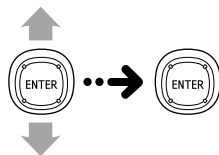
2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、
「2 (ENT)」を押す。



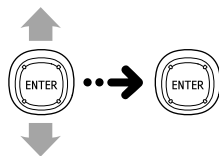
3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
MOBILE.S.MGR [Mobile Sound Manager]を
選び、「2 (ENT)」を押す。



5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、Road EQ
を選び、「2 (ENT)」を押す。



6 16ページから18ページの各操作項目を行う。

7 終了するには「F・SETUP」を3秒以上押す。



Read EQを使う（つづき）

A マイクの選択

- 1) Road EQモードで、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MIC SELECT [Microphone Select] を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 2) 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、使用するマイクを選び、「2 (ENT)」を押す。

■ MIC SELECT

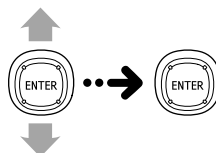
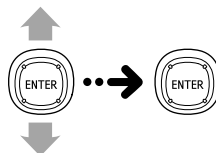
▶ EXTERNAL MIC

EXTERNAL MIC [External Microphone] :
本機付属のマイクを使用する場合に設定する。

MONITOR MIC [Monitor Internal Microphone] :
別売モニター（TVI-T990）と組み合わせ、モニター内蔵のマイクを使用する場合に設定する。

続いて、車室内周波数特性の測定を行います。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



■ MIC SELECT

▶ External Microphone
Monitor Internal Microphone

現在選択されている項目を示しています。

補 足 P23の補足説明もご覧ください。

B 車室内周波数特性の測定



- 1) Road EQモードで、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、R.EQ SETUP [Auto Road EQ Setup]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 2) 「2 (ENT)」を押す。

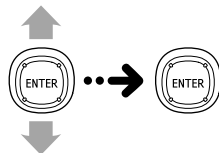
■ R.EQ SETUP
START

10秒のカウントダウン後、測定が開始されるので、10秒以内に車外に出てドアを閉める。

測定中またはカウントダウン中に「2 (ENT)」を押すと、測定が解除される。

測定は約8分で終了する。測定完了後、“COMPLETE”が表示されたら「2 (ENT)」を押して測定モードを解除し、「6 (RTN)」を押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。
- 測定後もマイクは外さないでください。
- マイクが接続されていない場合は、“NO MIC ERR”と表示されます。解除するには「2 (ENT)」を押します。



測定終了後“Complete”が表示されたら「ENTER」を押して測定モードを解除し「RETURN」を押す。

- マイクが接続されていない場合は、“NO MIC.”と表示されます。解除するには「ENTER」を押します。

C Road EQのON/OFF設定



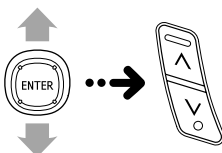
- 1) Road EQモードで、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、Road EQ ON/OFFを選ぶ。

- 2) OFFの場合は、「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」を押してONにする。
ONからOFFにしたい場合は、「2 (ENT)」を押した後、「5 (▼)」を押してOFFにする。

■ Road EQ
Road EQ ON

Road EQを利用しない場合は、OFFを選ぶ。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



Read EQを使う（つづき）

□ モードの選択



- 1) Road EQモードで、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MODE SELECT [Mode Select]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 2) 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、お好みのモードを選び、「2 (ENT)」を押す。

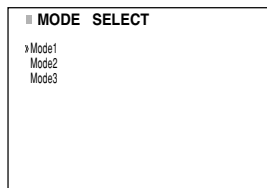
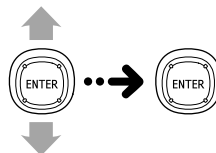
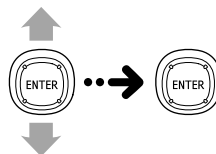


MODE1 [Mode1]：補正量の少ないモード。静かな車に向いてます。

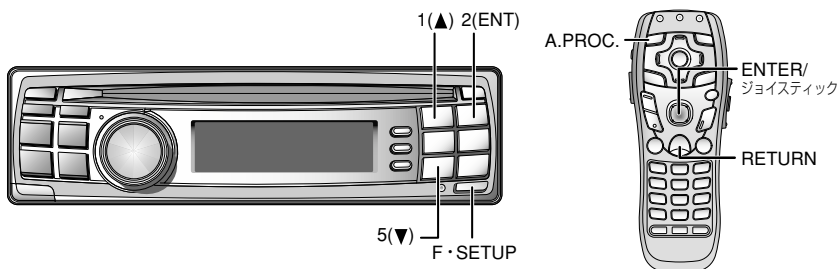
MODE2 [Mode2]：補正量のやや大きいモード。

MODE3 [Mode3]：補正量の大きなモード。高速走行時に使用してください。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



補 足 P23の補足説明もご覧ください。



自動的に時間補正を行う (AUTO TCR)

車という特殊な条件下であるため、リスニングポジションとそれぞれのスピーカーの距離に大きなばらつきがあります。本機は付属の測定用マイクで自動的に計測、分析して最適な時間補正を行います。

- 初めに自動調整の準備が必要です。12ページを参照してください。
- 本機の自動調整は、スピーカーに信号が入力して音出力されるまでの遅延時間差を含んだものになります。実際の距離とは異なります。
- 自動調整は、スピーカーの再生可能な周波数帯域内の平均的な遅延時間を計測するものです。特殊なスピーカーや再生環境では正確な計測ができない場合があります。この場合は手動による調整を行ってください。
- 添付のマイクが接続されていない場合は、AUTO TCRを行うことができません。
- 自動調整を行う際には、ヘッドユニットをTUNERモードにしてから調整を行ってください。

1 自動調整に入る前に、外部の音の影響を避けるために静かな場所に車を置く。

2 車のキーをACCのポジションにする。

エンジンはかけない。振動により適切な調整値が得られない場合がある。

3 音量を調整する。

ヘッドユニットの音量操作で「-50dB」に調整する。

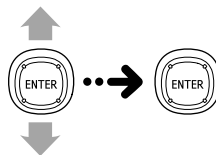
自動的に時間補正を行う (AUTO TCR) (つづき)



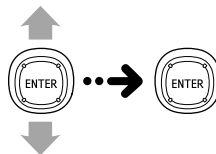
4 「F・SETUP」を3秒以上押す。



5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、
「2 (ENT)」を押す。



6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MOBILE.S.MGR [Mobile Sound Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、TCR [Time Correction]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 9 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、AUTO TCR [Auto Time Correction]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- TCRがONになっていることを確認してください。OFFの場合は、「手動で時間補正を行う」(24ページ)を参照してONにしてください。

- 10 「2 (ENT)」を押す。

10秒のカウントダウン後、自動調整が開始されるので、10秒以内に車外に出てドアを閉める。

■ AUTO TCR

START...

カウントダウン中に「2 (ENT)」を押すと、自動調整が解除される。

自動調整は、次の操作を自動的に行い数分で調整を終了する。

時間補正を行う。



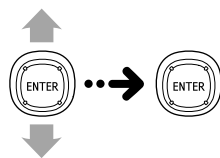
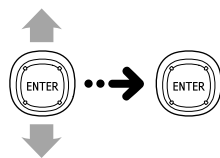
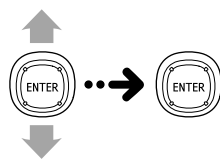
自動調整終了後、システムの再起動を行う。

自動調整中は音を発生する。

(TW、Sub WFを除く)

音は車外にも漏れるので、周囲の環境を考慮して作業をする。

- マイクが接続されていない場合は、「NO MIC ERR」と表示されます。解除するには「2 (ENT)」を押します。



- マイクが接続されていない場合は、「NO MIC.」と表示されます。解除するには「ENTER」を押します。

次頁へ続く→

自動的に時間補正を行う（AUTO TCR）（つづき）

11 システムの再起動が終了したら、車内に戻り、 AUTO TCR設定値が正しく反映されているかを確認する。

設定値が変更されていない場合はマイクが音を拾わない、またはスピーカーなどの故障、接続・配線が正しくない場合があります。

調整した内容を記憶させるには「記憶する」（90ページ）を参照して操作する。

- 設定モードでは、「6（RTN）」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

補 足 P23の補足説明もご覧ください。

● 補足説明		このページにはP12～P22についての補足説明が記載されています。ご参照下さい。	
タイトル	説 明	関連ページ	
Road EQを使う	本機を2台接続している場合は、2台両方にマイクを接続してください。	P 14ページ	
	マイクが音を拾わない場合またはスピーカーなどの故障、接続・配線が正しくない場合は、自動調整が行えない場合があります。それぞれのスピーカーなどを確認してください。	P 14ページ	
	Road EQがONの状態、DVD-Audioの96kHzまたは192kHz再生をしている場合は、自動的に48kHzヘダウンサンプリングを行って再生します。	P 14ページ	
	Road EQの調整後、Road EQをONにしている状態でいずれかのスピーカーのON/OFFを切りかえた場合、自動的にRoad EQがOFFになります。スピーカー設定を切りかえた場合は、再度測定からやり直してください。	P 14ページ	
	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	P 15ページ	
	回車室内周波数特性の測定 エンジンをかけない状態で長時間使用するとバッテリー上がりの恐れがありますのでご注意ください。	P 17ページ	
	回Road EQのON/OFF設定 車室内周波数特性の測定を行うと、自動的にON設定になります。	P 17ページ	
	回モードの選択 回Road EQのON/OFF設定でOFFに設定されている場合は、選択できません。	P 18ページ	
自動的に時間補正を行う (AUTO TCR)	本機を2台接続している場合は、2台両方にマイクを接続してください。	P 19ページ	
	エンジンをかけない状態で長時間使用するとバッテリー上がりの恐れがありますのでご注意ください。	P 19ページ	
	手順4のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	P 20ページ	

手動で時間補正を行う（TCR）

自動補正の「AUTO TCR」でも十分な補正を行えますが、自分で補正値を算出して調整することもできます。この手動による補正は十分な知識と経験が必要です。お買い上げ店にて調整されることをお勧めします。

1 ヘッドユニットのディフィートがOFFであることを確認する。

2 リスニングポジション（運転席など）に座り、頭の位置と各スピーカーの距離（m）を測定する。

3 一番遠いスピーカーの距離とその他のスピーカーの距離の差を算出する。

$L = (\text{一番遠いスピーカーの距離}) - (\text{それぞれのスピーカーの距離})$

4 スピーカーごとに算出した距離を音速（343m/s 気温20℃）で割る。

その値が各スピーカーの時間補正值となる。

- 音速は気温などにより変動します。正確な音速は次のように計算します。

音速 = $331.45 + C \times T$

C : 0.607

T : 気温 (℃)

●具体例

1. 右イラストのフロント右側スピーカーの時間補正值を算出する。

(条件) :

一番遠いスピーカー～リスニングポジション : 2.25m

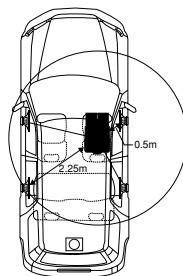
フロント右側スピーカー～リスニングポジション : 0.5m

(算出) : $L = 2.25\text{m} - 0.5\text{m} = 1.75\text{m}$

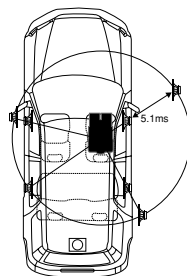
補正時間 = $1.75 \div 343 \times 1000$

= 5.1 (ms)

つまり、フロント右側スピーカーの時間補正值に5.1 (ms) とえることで、見かけの距離を持たせて、一番遠いスピーカーと距離を一致させる。



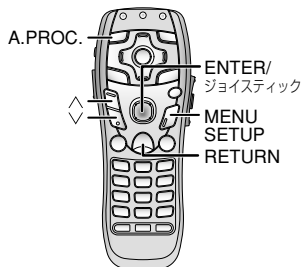
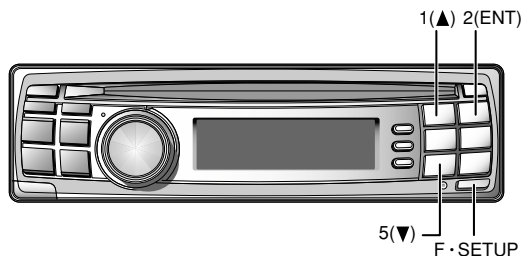
リスニングポジションと各スピーカーまでの距離が違うために偏った音になる。
右前スピーカーと左後スピーカーでは1.75mの差がある。



時間補正により到達時間差が解消される。
右前スピーカーに5.1msの時間補正を行い、リスニングポイントとスピーカーまでの距離の整合をとることができる。

次頁へ続く→

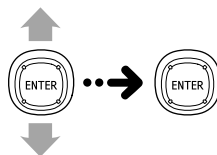
手動で時間補正を行う（TCR）（つづき）



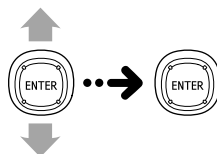
5 「F・SETUP」を3秒以上押す。



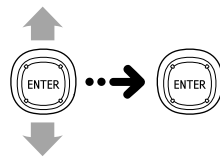
6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



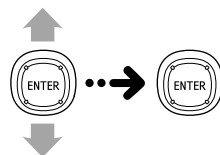
7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MOBILE.S.MGR [Mobile Sound Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 9 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、TCR [Time Correction]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 10 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、TCR ON/OFF [Time Correction ON/OFF]を選ぶ。



- 11 OFFの場合は、「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」を押してTCR ON [Time Correction ON]にする。ONからOFFにしたい場合は、「2 (ENT)」を押した後、「5 (▼)」を押してTCR OFF [Time Correction OFF]にする。

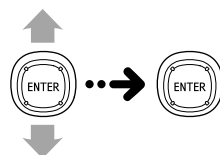


ON/OFFを切りかえる。

TCR

Channel Select
Adjust
Channel Mode
Auto Time Correction
Time Correction ON

- 12 上記手順でONを選んだ後、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CH MODE [Channel Mode]を選び、「2 (ENT)」を押す。



次頁へ続く→

手動で時間補正を行う（TCR）（つづき）

- 13** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、「[L or R]」または「[L+R]」を選び、「2 (ENT)」を押す。

L or R : チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。

L+R : チャンネルL/Rで同じ調整値に設定される。

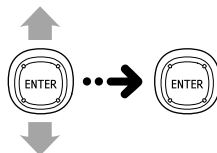
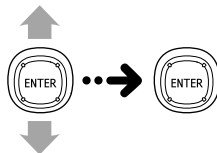
【「L+R」を選択した場合】

- 1) 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、現在のLch/Rchどちらの設定を有効にするか選択し、「2 (ENT)」を押す。

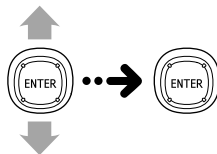
L->L+R : 現在のLchの設定を有効にし、L/Rで同じ調整値に設定される。

R->L+R : 現在のRchの設定を有効にし、L/Rで同じ調整値に設定される。

- 2) 「6 (RTN)」を押す。

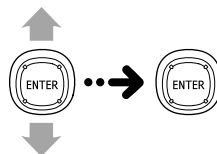


- 14** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CH SELECT [Channel Select]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 15** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、希望のチャンネルを選び、「2 (ENT)」を押す。

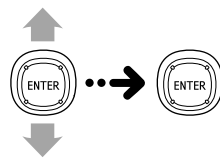
選択できるチャンネルは、システム設定（9ページ）によって異なる。



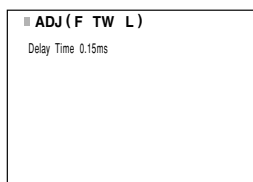
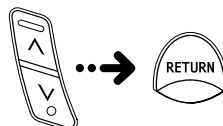
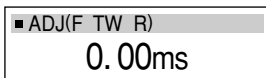
■ CH SELECT

xFront TW Left
 Front TW Right
 Front WF Left
 Front WF Right
 Rear Left
 Rear Right
 Front Center
 Subwoofer

- 16「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、ADJUST [Adjust]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 17「2 (ENT)」を押し、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、時間補正值 (0.00~20.00ms 0.05msステップ) を調整し、「6 (RTN)」を押す。

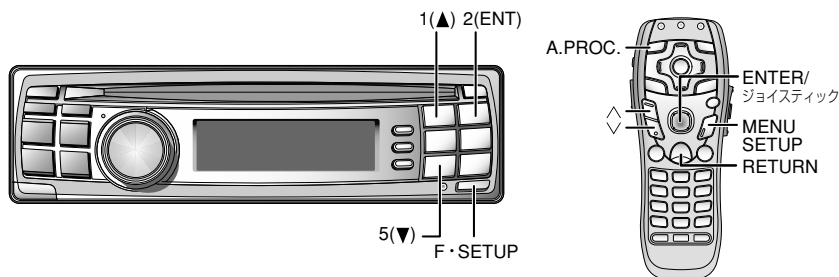


- 18さらに別のチャンネルを調整するには、手順14~17を繰り返す。

- 19設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



イコライザーの調整

本機は、グラフィックEQとパラメトリックEQを搭載しており、お好みによりどちらかのEQを利用することができます。

グラフィックEQ：

フロント／リア／センター独立でそれぞれ31バンド、サブウーハーは10バンドのレベル調整（合計206バンド）を行えますので、思い通りの音場を再現することができます。

パラメトリックEQ：

グラフィックEQでは隣接する帯域まで変化するため、ピーク（山）やディップ（谷）での急峻な特性の乱れをスポット的に補正するには限界があります。パラメトリックEQは、中心周波数、Q（帯域幅）、レベルをそれぞれ任意に調整可能ですので、狙った帯域だけを微妙に調整することができます。高度で本格的な補正、音創りを行うにはこのパラメトリックEQが有効なのです。

- ピンクノイズなどのテスト信号を利用すると調整を行い易くなります。テスト信号についてはお買い上げ店にご相談ください。
- イコライザーの調整は接続するスピーカーの再生周波数を確認して調整してください。スピーカーの再生周波数が「55Hz～30kHz」の場合、40Hzや20Hzのレベル調整を行っても効果がない場合があります。
- 設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。
- 別売ヘッドユニット（DVI-9990J）と別売モニター（TVI-T990）を組み合わせた場合、モニター画面で調整内容を確認しながらEQ調整を行うことができます。（「イコライザーの調整（DVI-9990J／TVI-T990接続時のみ）」96ページ参照）
- MP3やWMAの32kHzサンプリング周波数で記録されたディスクでは16kHz以上の周波数の補正を行いません。



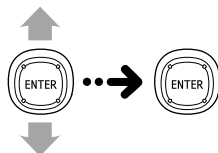
- 1 ヘッドユニットのディフューズがOFFであることを確認する。

- 2 「F・SETUP」を3秒以上押す。

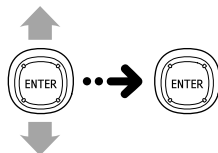
A.PROC.

3Sec

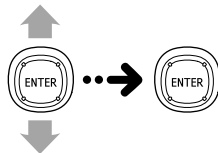
- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、
「2 (ENT)」を押す。



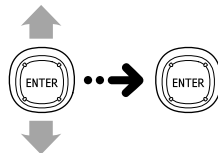
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



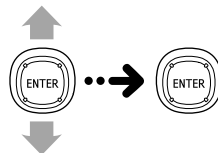
- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
MOBILE.S.MGR [Mobile Sound Manager]を
選び、「2 (ENT)」を押す。



- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、EQ
[Equalizer]を選び、「2 (ENT)」を押す。



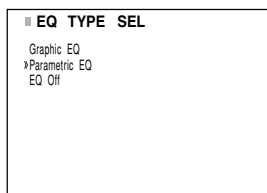
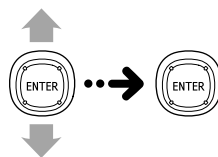
- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、EQ TYPE
SEL [EQ Type Select]を選び、「2 (ENT)」を
押す。



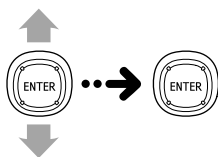
イコライザーの調整（つづき）

- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、EQタイプを選び、「2 (ENT)」を押す。

GRAPHIC. EQ ⇄ PARAMET. EQ ⇄ EQ OFF
[Graphic EQ] [Parametric EQ] [EQ Off]



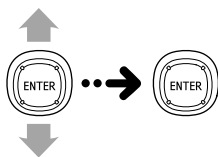
- 9 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CH MODE [Channel Mode]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 10 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、「L or R」または「L+R」を選び、「2 (ENT)」を押す。

L or R : チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。

L+R : チャンネルL/Rで同じ調整値に設定される。



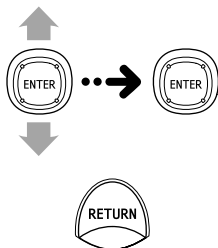
【「L+R」を選択した場合】

- 1) 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、現在のLch/Rchどちらの設定を有効にするか選択し、「2 (ENT)」を押す。

L->L+R : 現在のLchの設定を有効にし、L/Rで同じ調整値に設定される。

R->L+R : 現在のRchの設定を有効にし、L/Rで同じ調整値に設定される。

- 2) 「6 (RTN)」を押す。



グラフィックEQの調整→P33へ

パラメトリックEQの調整→P35へ

グラフィックEQの調整



- 11** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CH SELECT [Channel Select]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 12** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、希望のチャンネルを選び、「2 (ENT)」を押す。
選択できるチャンネルは、システム設定 (9ページ) によって異なる。

- 13** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、BAND [Band]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 14** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、周波数を選び、「2 (ENT)」を押す。

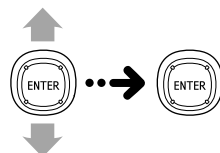
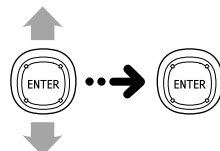
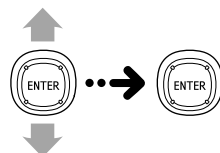
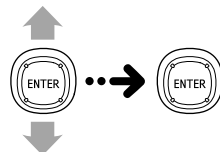
調整可能周波数

フロント／リア／センター：20Hz～20kHz
(1/3オクターブ間隔)

サブウーハー：20Hz～160Hz
(1/3オクターブ間隔)

■ BAND

▶ **FREQ 20HZ**



■ BAND

» Frequency 20Hz
Frequency 25Hz
Frequency 31.5Hz
Frequency 40Hz
Frequency 50Hz
Frequency 63Hz
Frequency 80Hz
Frequency 100Hz
Frequency 125Hz
▼

グラフィックEQの調整（つづき）

- 15** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、ADJUST [Adjust]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 16** 「2 (ENT)」を押し、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、レベル（± 9dB 0.5dBステップ）を調整し、「6 (RTN)」を押す。

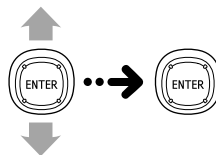
■ ADJ(20Hz)
LEVEL 0.0dB

- 17** さらに別の周波数帯を調整するには手順13～16を繰り返す。

- 18** さらに別のチャンネルを調整するには手順11～17を繰り返す。

- 19** 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



(レベル調整)

■ ADJ (20Hz)

Level: 1.5dB



3Sec

パラメトリックEQの調整



- 11** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CH SELECT [Channel Select]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 12** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、希望のチャンネルを選び、「2 (ENT)」を押す。
選択できるチャンネルは、システム設定 (9ページ) によって異なる。

- 13** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、BAND [Band]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 14** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、バンドを選び、「2 (ENT)」を押す。

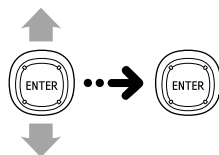
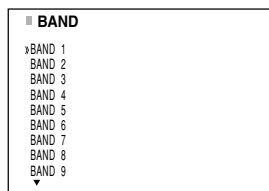
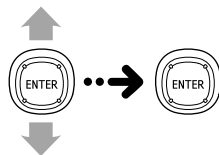
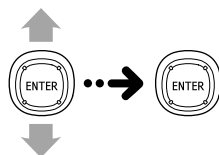
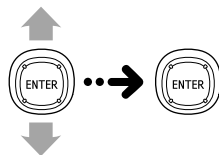
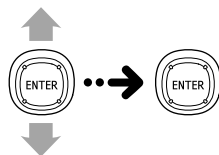
調整可能バンド数

フロント/リア/センター：10バンド

サブウーハー：2バンド



- 15** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、ADJUST [Adjust]を選び「2 (ENT)」を押す。



パラメトリックEQの調整（つづき）

- 16「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、FREQ [Frequency]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 17「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、周波数を選び、「2 (ENT)」を押す。

調整可能な周波数は、106ページを参照してください。

■ ADJ(BAND 1)

FREQ 28 Hz

- 隣り合うバンドの周波数は、4ステップ以内に調整することができません。

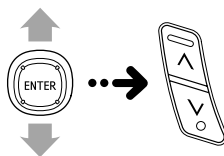
- 18「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、Q [Q-Factor]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 19「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、バンド幅(Q)を調整し、「2 (ENT)」を押す。

バンド幅は0.5/1/2/3/4/5の6段階に調整できる。

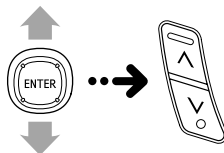
■ ADJ(BAND 1)

Q 0.5



■ ADJ (BAND 1)

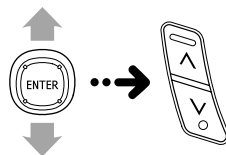
Frequency 31.5Hz
Q-Factor 0.5
Level 1.5dB



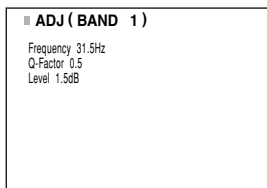
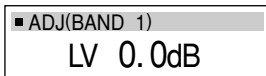
■ ADJ (BAND 1)

Frequency 31.5Hz
Q-Factor 0.5
Level 1.5dB

- 20 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押してLV [Level]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 21 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、レベル(±9dB 0.5dBステップ)を調整し、「2 (ENT)」を押す。



- 22 さらに別のバンドを調整するには「6 (RTN)」を押した後、手順13～21を繰り返す。



- 23 さらに別のチャンネルを調整するには「6 (RTN)」を押した後、手順11～22を繰り返す。



- 24 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

補 足 P49の補足説明もご覧ください。

クロスオーバーネットワークとは

本機は、パワーアンプで増幅される前の帯域分割が可能なアクティブデバイディングネットワークを搭載しています。

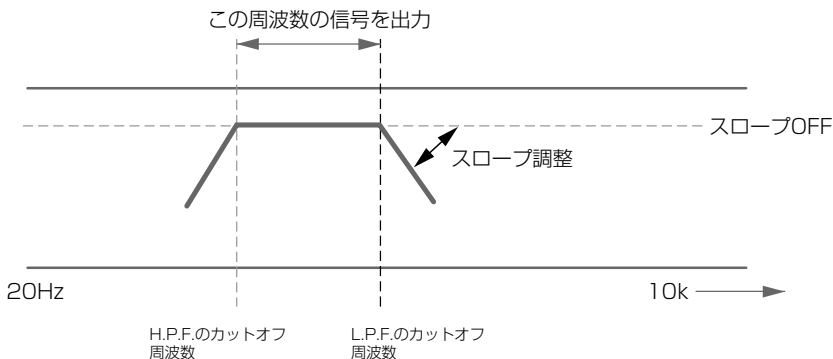
そのため、スピーカーとアンプの間に置かれたパッシブネットワークは不要となり、各アンプは完全に独立した動作が可能です。干渉問題がなくなり、スピーカーの能力に見合った再生周波数を分割することで最適な音響空間を再現します。

調整は充分な知識と経験が必要です。うまく行かない場合は、お買い上げ店にて調整されることをお勧めします。

各バンドのH.P.F.（ハイパスフィルター） L.P.F.（ローパスフィルター）の調整、スロープ（フィルター特性の減衰の傾き）を設定します。

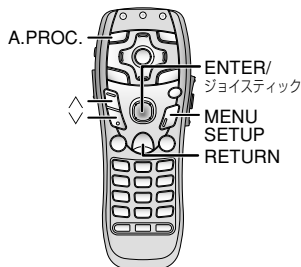
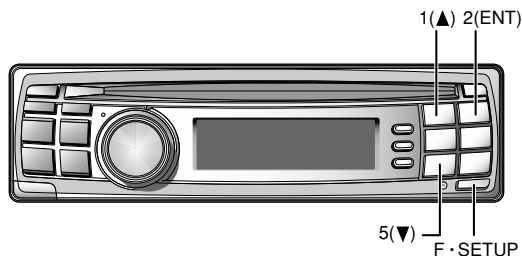
接続しているスピーカーの再生周波数帯域や特性に合わせて調整してください。

	カットオフ 周波数調整帯域 (1/6オクターブステップ)		スロープ調整	
	H.P.F.	L.P.F.	H.P.F.	L.P.F.
FRONT	20Hz～18kHz	22Hz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
FRONT TW	1kHz～18kHz	1.1kHz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
FRONT MID	20Hz～18kHz	22Hz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
FRONT WF	20Hz～18kHz	22Hz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
REAR	20Hz～18kHz	22Hz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
REAR TW	1kHz～18kHz	1.1kHz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
REAR WF	20Hz～18kHz	22Hz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
FRONT C	20Hz～18kHz	22Hz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
FRONT C TW	1kHz～18kHz	1.1kHz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
FRONT C WF	20Hz～18kHz	22Hz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
REAR C	20Hz～18kHz	22Hz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
REAR C TW	1kHz～18kHz	1.1kHz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
REAR C WF	20Hz～18kHz	22Hz～20kHz	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF
SUBWOOFER	20Hz～160Hz	22Hz～180Hz	-6/-12/-18/-24/-30dB /フィルター-OFF	-6/-12/-18/-24/-30dB



同じチャンネル内でH.P.F.とL.P.F.が重なる、または、超える設定は行えない。

- クロスオーバーネットワークとは特定の周波数帯域を分割するフィルターです。
 - H.P.F.はある周波数より下の音域（低域）をカットして、高域の成分を通すフィルターです。
 - L.P.F.はある周波数より上の音域（高域）をカットして、低域の成分を通すフィルターです。
 - スロープとは周波数が1オクターブ高くまたは低くなったとき、信号が何dB減衰するかを表す値です。
 - スロープの数値が大きいほど傾きは急になります。
 - スロープをOFFにすると、信号がフィルターを通過しないため効果はなくなります。
 - スピーカーを保護するためフロントハイレンジH.P.F.でのフィルターOFF（スロープOFF）設定はありません。
- また、サブウーハーL.P.F.でのフィルターOFF（スロープOFF）設定もありません。
- ツィーターは低域信号入力によって故障の原因になる危険性があります。
 - MP3やWMAの32kHzサンプリング周波数で記録されたディスクでは、16kHz以上の周波数の調整を行いません。



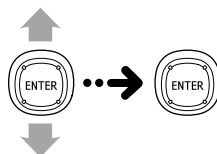
クロスオーバーネットワークの調整／位相切りかえ



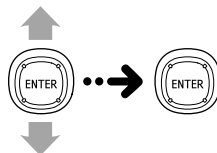
- 1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



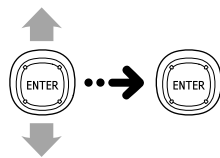
- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



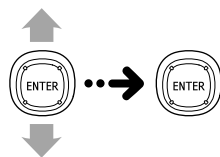
- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



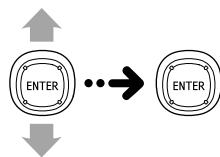
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MOBILE.S.MGR [Mobile Sound Manager] を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CROSSOVER [Crossover] を選び、「2 (ENT)」を押す。



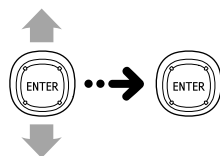
- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CH MODE [Channel Mode] を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、「L or R」または「L+R」を選び、「2 (ENT)」を押す。

L or R : チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。

L+R : チャンネルL/Rで同じ調整値に設定される。



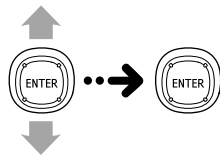
【「L+R」を選択した場合】

- 1) 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、現在のLch/Rchどちらの設定を有効にするか選択し、「2 (ENT)」を押す。

L->L+R : 現在のLchの設定を有効にし、L/Rで同じ調整値に設定される。

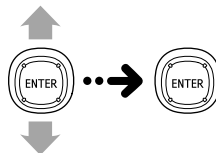
R->L+R : 現在のRchの設定を有効にし、L/Rで同じ調整値に設定される。

- 2) 「6 (RTN)」を押す。



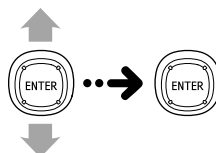
クロスオーバーネットワークの調整／位相切りかえ（つづき）

- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CH SELECT [Channel Select]を選び、「2 (ENT)」を押す。

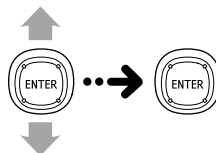


- 9 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、調整したいチャンネル（スピーカー）を選び、「2 (ENT)」を押す。

選択できるチャンネルは、システム設定（9ページ）によって異なる。

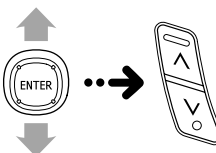


- 10 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、ADJUST [Adjust]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 11 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、LOW.P [Low Pass Freq]またはHI.P [High Pass Freq]を選び、「2 (ENT)」を押す。

●手順11～14の操作で、HI/LOWのクロスオーバーネットワークを調整してください。



- 12 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、希望のカットオフ周波数（クロスオーバーポイント）を選び、「2 (ENT)」を押す。

■ ADJ(F WF L)

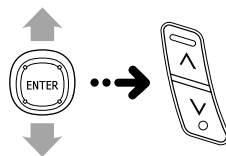
LOW.P 400

●調整できる帯域は、チャンネル（スピーカー）によって異なる。

■ ADJ(F TW L)

Low Pass Freq 20KHz
Low Pass Slope OFF
High Pass Freq 1KHz
High Pass Slope -18dB/oct
Level 0dB
Phase 0

- 13 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、LOW.SL [Low Pass Slope]またはHI.SL [High Pass Slope]を選び、「2 (ENT)」を押す。



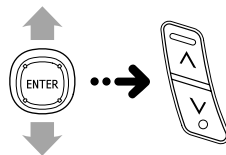
- 14 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、スロープを調整し、「2 (ENT)」を押す。

■ ADJ(F WF L)
LOW.SL OFF

■ ADJ(F TW L)

Low Pass Freq 20KHz
Low Pass Slope OFF
High Pass Freq 1KHz
High Pass Slope -18dB/oct
Level 0dB
Phase 0

- 15 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、LEVEL [Level]を選び、「2 (ENT)」を押す。



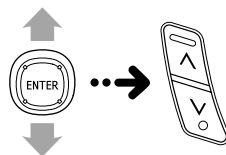
- 16 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、レベル (−12dB〜0dB 1dBステップ) を調整し、「2 (ENT)」を押す。

■ ADJ(F WF L)
LEVEL 0dB

■ ADJ(F TW L)

Low Pass Freq 20KHz
Low Pass Slope OFF
High Pass Freq 1KHz
High Pass Slope -18dB/oct
Level 0dB
Phase 0

- 17 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、PHASE [Phase]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 18 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、位相 (Phase) を切りかえ、「2 (ENT)」を押す。

0° ↔ 180°

■ ADJ(F WF L)
PHASE 0

■ ADJ(F TW L)

Low Pass Freq 20KHz
Low Pass Slope OFF
High Pass Freq 1KHz
High Pass Slope -18dB/oct
Level 0dB
Phase 0

次頁へ続く→

クロスオーバーネットワークの調整／位相切りかえ（つづき）

- 19** さらに別のチャンネルを調整するには「6（RTN）」を押した後、手順8～18を繰り返す。



- 20** 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 設定モードでは、「6（RTN）」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

サブウーハー調整のコツ

- リアトレイに設置した場合L.P.F.のスロープをゆるやか（ -6dB/oct. など）に設定すると音が後方に傾くようになり、前方定位に影響される場合があります。

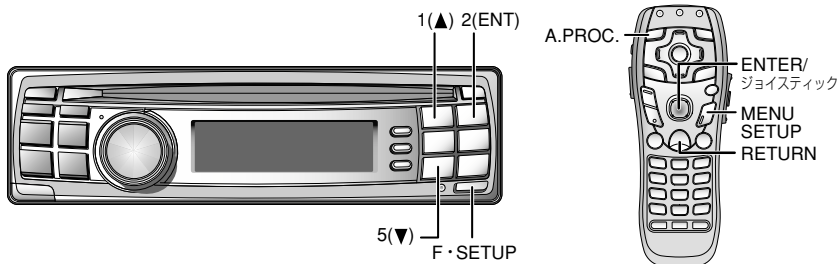
ハイレンジ調整のコツ

- スピーカーによっては、H.P.F.の調整で低域成分（約 2kHz 以下）の信号が入力すると、歪の原因になる場合があります。このとき -30dB/oct. などの急なスロープ設定を行うようにしてください。このときにミッドレンジとハイレンジの音が分離しないように調整してください。
- L.P.F.は通常OFFで使います。高域が効きすぎのときは、なだらかなスロープ調整をすることをお勧めします。

ローレンジ調整のコツ

- サブウーハー接続時、ローレンジが 10cm や 12cm 未満のスピーカーの場合はローレンジのH.P.F.をOFFにすると、低域成分が入ったときに歪の原因になる場合があります。このときはH.P.F.のスロープは、スピーカーの周波数特性に合った設定にしてください。

補 足 P49の補足説明もご覧ください。



MXの設定

MX (Media Xpander) は、ラジオ (AMは除く) / CDなど音楽ソースごとにボーカルや各楽器の音を際立たせ、走行騒音の多い車内においても音楽をクリアに再生することができます。ヘッドユニットの音楽ソースが切りかわった場合、設定されたMX内容に自動的に切りかわります。

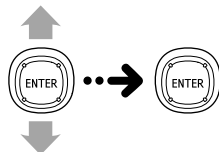


- 1 ヘッドユニットのディフューズがOFFであることを確認する。

- 2 「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



次頁へ続く→

MXの設定（つづき）

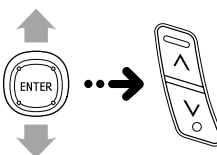
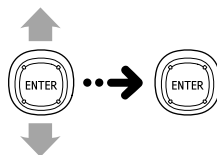
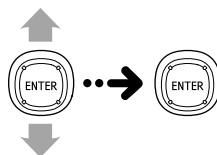
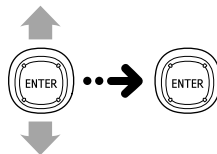
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。

- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
MEDIA.S.MGR [Media Sound Manager]を選
び、「2 (ENT)」を押す。

- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MX
[Media Xpander]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MX
ON/OFFを選ぶ。

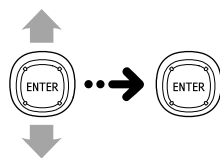
- 8 OFFの場合は、「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」
を押してMX ONにする。
ONからOFFにしたい場合は、「2 (ENT)」を押し
た後、「5 (▼)」を押してMX OFFにする。



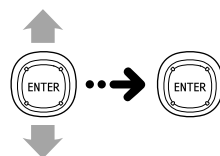
■ MX

Media Select
MX Select
MX OFF

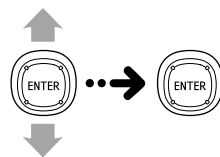
- 9 ONに設定した場合は、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MEDIA SEL [Media Select]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 10「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、設定するソース（メディア）を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 11「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MX SELECT [MX Select]を選び、「2 (ENT)」を押す。



MXの設定（つづき）

- 12** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、好みのモードを選び、「2 (ENT)」を押す。

■ MX SELECT

MX1

OFFを選ぶとMXの効果がOFFになる。

FM：MX1～5、OFF

こもりがちな中高域の音をよりクリアにし、全帯域にバランスのとれた音を再生する。

CD：MX1～5、OFF

情報量豊富なCD。その情報量を活かしたメリハリのある音を再生する。

CMP.MEDIA [Compressed Media](MP3やWMAなど) /MD：MX1～5、OFF

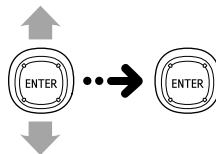
圧縮時に欠落された情報を補正し、原音に近いバランスのとれた音を再生する。

DVD-VIDEO [DVD-Video]/VIDEO-CD [Video-CD]：MX1～5、OFF

映画ディスクのセリフ部分をより鮮明に再生する。

AUX：MX1～5、OFF

接続するメディアの圧縮比に対応したMXモード（MX1：圧縮比小～MX5：圧縮比大）が選べる。



■ MX SELECT

▶ MX 1
MX 2
MX 3
MX 4
MX 5
Effect OFF

- 13** さらに別のソース（メディア）を設定するには、手順9～12を繰り返す。

- 14** 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。



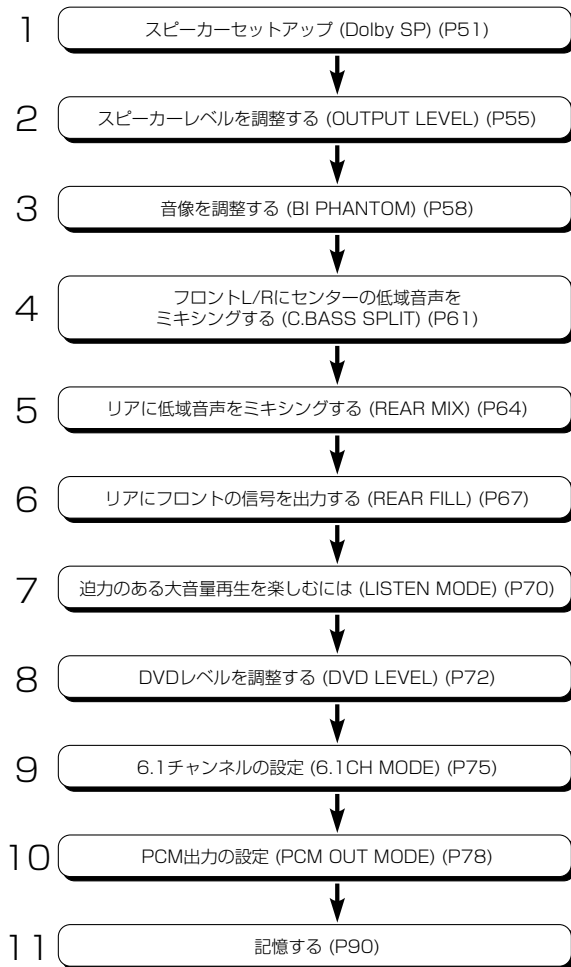
- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

● 補足説明		
このページにはP24～P48についての補足説明が記載されています。ご参照下さい。		
タイトル	説 明	関連ページ
手動で時間補正を行う (TCR)	スピーカー設定 (7ページ) で、OFFに設定されているスピーカーは、時間補正を行うことができません。	P 24ページ
	実際には距離差だけでなく、スピーカーにアンプからの信号が入力され、音が出るまでの遅延時間も存在します。この時間はスピーカーにより異なります。また、同じスピーカーでも自動車への取付状態により、多少変化することもあります。設定した後に音を聴きながら微調整することをお勧めします。	P 24ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	P 24ページ
	手順5のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことも同様に行えます。	P 26ページ
イコライザーの調整	スピーカー設定 (7ページ) で、OFFに設定されているスピーカーは、EQの調整を行うことができません。	P 30ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	P 30ページ
	手順2のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことも同様に行えます。	P 31ページ
	グラフィックEQを使用している状態で、DVD-Audioの96kHzまたは192kHz再生をしている場合は、自動的に48kHzヘダウンサンプリングを行って再生します。	P 32ページ
クロスオーバーネットワークの調整／位相切りかえ	スピーカー設定 (7ページ) で、OFFに設定されているスピーカーは、クロスオーバーネットワークの調整を行うことができません。	P 40ページ
	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことも同様に行えます。	P 40ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	P 40ページ
MXの設定	DVD AudioのMX設定は常にOFFとなります。	P 45ページ
	手順2のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことも同様に行えます。	P 45ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	P 45ページ
	MXがONの状態で、DVD-Audioの96kHzまたは192kHz再生をしている場合は、自動的に48kHzヘダウンサンプリングを行って再生します。	P 46ページ

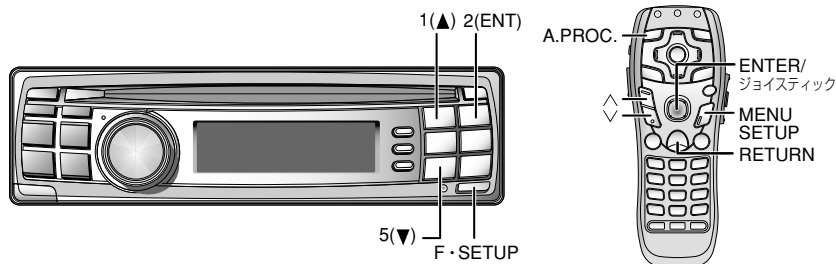
マルチチャンネル機能の調整手順

ドルビーデジタルやDTSサウンドをより正確に再現するには下記調整を行ってください。

<調整手順>



●自動調整などと組み合わせて使用する場合は、マルチチャンネル機能の調整前に行うことをお勧めします。



スピーカーセッアップ (Dolby SP)

お使いになるスピーカーの再生周波数帯域に応じて、本機を設定することができます。この操作を行う前に、各スピーカー（サブウーハー以外）の再生周波数帯域を調べて低音再生が可能かを確認してください。

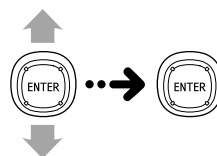
- 本設定、調整中は、プレーヤー側でストップ／ポーズ（一時停止）／ディスク交換／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。デコード状態が切りかわると設定が解除されます。



- 1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。

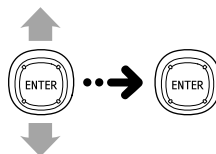


次頁へ続く→

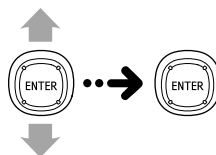
マルチチャンネル機能を使う

スピーカーセットアップ (Dolby SP) (つづき)

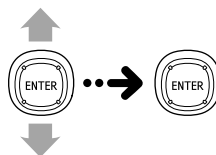
- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



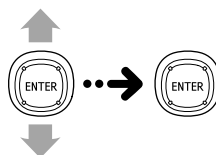
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
SP SETUP [Speaker Setup]を選び、
「2 (ENT)」を押す。



- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、Dolby SP
[Dolby Speaker Setup]を選び、「2 (ENT)」
を押す。



- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
CH SELECT [Channel Select]を選び、
「2 (ENT)」を押す。



- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、設定するスピーカーを選び、「2 (ENT)」を押す。

FRONT ↔ REAR ↔ FRONT CENTER ←
SUBWOOFER ↔ REAR CENTER ←

- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、SETUP [Setup]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 9 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、スピーカー特性を選び、「2 (ENT)」を押す。

※1
LARGE ↔ SMALL ↔ OFF

(サブウーハーはON/OFFのみです)

LARGE :

低域が再生できるスピーカーを接続している場合

SMALL :

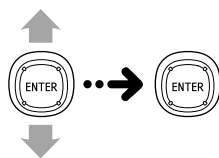
低域が再生できないスピーカーを接続している場合

OFF :

スピーカーを接続していない場合

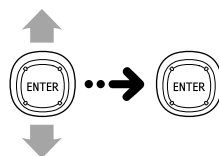
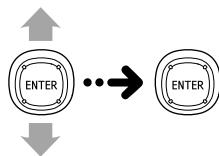
※1・・・ フロントスピーカーはOFFできません。

- フロントスピーカーがSMALL、センタースピーカーがLARGE、サブウーハーがOFFのときは、リアスピーカーをOFFやSMALLに設定しないでください。
- リアセンタースピーカーをLARGEまたはSMALLに設定した場合でもリアスピーカーがOFFに設定されている場合は、リアセンタースピーカーからも音が出ません。



CH SELECT

»Front
»Rear
»Front Center
»Rear Center
»Subwoofer



SETUP

»LARGE
»SMALL
»OFF

マルチチャンネル機能を使う

スピーカーセットアップ (Dolby SP) (つづき)

10 さらに別のスピーカーを設定するには手順6～9を繰り返す。

【カットオフ周波数の設定】

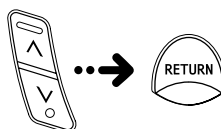
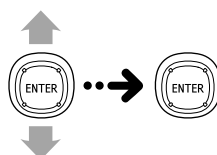
スピーカー設定を「SMALL」に設定したときの再生を制限するカットオフ周波数を設定します。全てのスピーカーのスピーカー特性を選択してから、この設定を行ってください。

1) Dolby SPモードで、「1 (▲)」または「5 (▲)」を押して、CUTOFF [Cutoff]を選び、「2 (ENT)」を押す。

2) 「2 (ENT)」を押し、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、カットオフ周波数を選び、「6 (RTN)」を押す。

設定可能周波数

80Hz/100Hz/120Hz/160Hz/200Hz



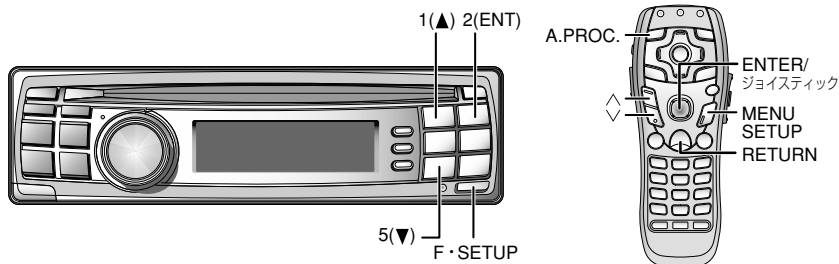
11 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。



3Sec

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

補 足 P86の補足説明もご覧ください。



スピーカーレベルを調整する (OUTPUT LEVEL)

本機から出力されるテストーンで各スピーカーの音量が同じ大きくなるように調整します。

各スピーカーの音量をリスニングポジションにおいて同じ大きさに調整することで高い臨場感が得られます。

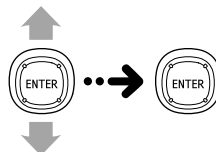
- 調整は、ヘッドユニットをTUNERモードにした状態で行ってください。動作状態が切りかわると設定が解除されます。



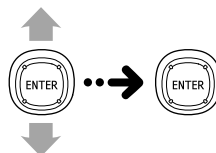
- 1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。

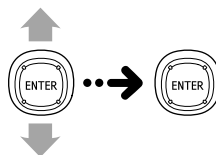


次頁へ続く→

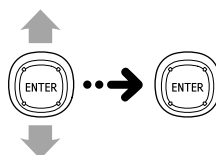
マルチチャンネル機能を使う

スピーカーレベルを調整する (OUTPUT LEVEL) (つづき)

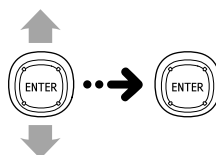
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MULTI.CH.MGR [Multi Channel Manager] を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、OUTPUT LEVEL [Output Level] を選び、「2 (ENT)」を押す。



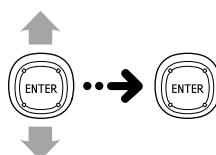
- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CH SELECT [Channel Select] を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、調整するスピーカーを選び、「2 (ENT)」を押す。

LEFT ⇄ CENTER ⇄ RIGHT ⇄ R SURROUND ⇄
L SURROUND ⇄ B SURROUND ⇄

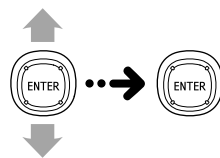
スピーカーを選択すると、そのスピーカーからテスト音が出力される。



CH SELECT

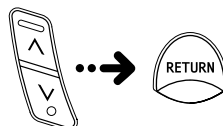
Left
Center
Right
Right Surround
Back Surround
Left Surround

- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、LEVEL [Level]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 9 「2 (ENT)」を押し、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、出力レベルを調整し、「6 (RTN)」を押す。

各スピーカーは±10dB (±1dBステップ) の範囲で調整できる。

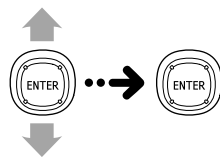


- 10 さらに別のスピーカーを設定するには手順6～9を繰り返す。

- 11 設定が終了したら、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、Endを選び、「2 (ENT)」を押す。

テストトーン出力が解除される。

Endを選択しない場合、テストトーン出力は解除されず、SETUPを終了できない。

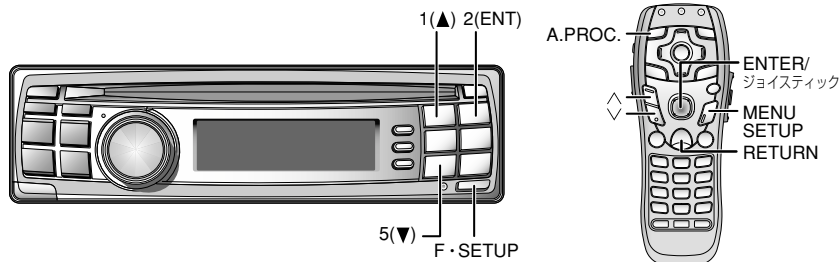


- 12 終了するには、「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

マルチチャンネル機能を使う



音像を調整する (BI PHANTOM)

臨場感ある音声を再現するには、センタースピーカーを運転席、助手席などリスニングポジションの真正面に置かなくてはなりません。この機能で、仮想的にセンタースピーカーの音を両サイドに振り分けることにより、センタースピーカーが真正面にあるような音像を作り出すことができます。(「PCM出力の設定」(78ページ)で「DOLBY PL II MOVIE」「Neo:6 CINEMA」を選択したときおよびDolby Digital、DTSのセンタースピーカーの録音されたソフトを再生したときのみ効果があります。)

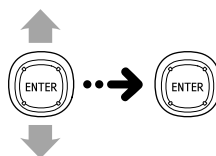
- 調整中は、プレーヤー側でストップ／ポーズ(一時停止)／ディスク交換／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。



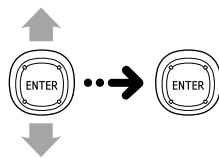
- 1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



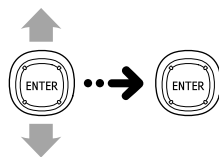
- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



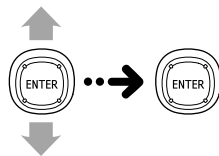
- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



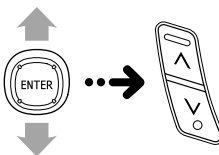
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
MULTI.CH.MGR [Multi Channel Manager]を
選び、「2 (ENT)」を押す。



- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
BI PHANTOM [Bi Phantom]を選び、「2 (ENT)」
を押す。

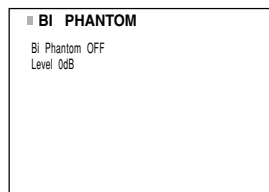


- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MODE
ON/OFF [Bi Phantom ON/OFF]を選ぶ。



- 7 OFFの場合は、「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」
を押してONにする。
ONからOFFにしたい場合は、「2 (ENT)」を押し
た後、「5 (▼)」を押してOFFにする。

ONに設定すると、仮想的にセンタースピーカーの
音を両サイドに振り分けることにより、センタ－
スピーカ－が真正面にあるような音像を作り出す
ことができる。



- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、LEVEL
[Level]を選び、「2 (ENT)」を押す。



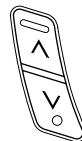
マルチチャンネル機能を使う

音像を調整する (BI PHANTOM) (つづき)

- 9 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、レベルを調整し、「2 (ENT)」を押す。

レベルは、-5～+5まで調整でき、レベルが大きくなると、音像はセンタースピーカーの位置から両サイドに移る。

■ BI PHANTOM
LEVEL 0dB



■ BI PHANTOM

Bi Phantom OFF
Level 0dB

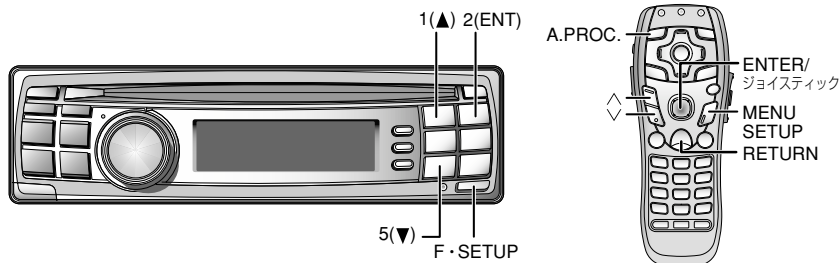
- 10 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



3Sec

補 足 P86の補足説明もご覧ください。



フロントL/Rにセンターの低域音声をミキシングする (C.BASS SPLIT)

フロントL/Rから出力される音声信号に、センターの音声信号（低域）をミキシングします。

- 調整中は、プレーヤー側でストップ／ポーズ(一時停止)／ディスク交換／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。



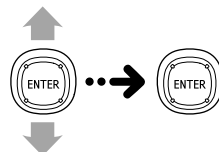
- 1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



A.PROC.

3Sec

- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。

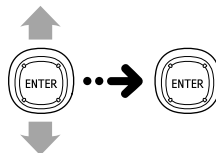


次頁へ続く→

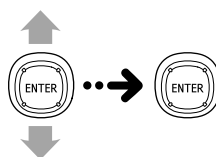
マルチチャンネル機能を使う

フロントL/Rにセンターの低域音声をミキシングする (C.BASS SPLIT) (つづき)

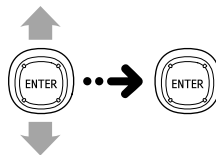
- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
MULTI.CH.MGR [Multi Channel Manager]を
選び、「2 (ENT)」を押す。



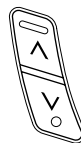
- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、C.BASS
SPLIT [Center Bass Split]を選び、「2 (ENT)」
を押す。



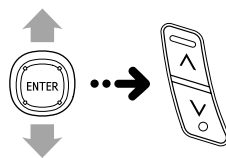
- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MODE
ON/OFF [Center Bass Split ON/OFF]を選ぶ。



- 7 OFFの場合は、「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」
を押してONにする。
ONからOFFにしたい場合は、「2 (ENT)」を押し
た後、「5 (▼)」を押してOFFにする。
ONに設定すると、フロントL/Rから出力される音
声信号に、センターの音声信号（低域）をミキシ
ングできる。



- 8 ONに設定した場合は、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、FREQ [Frequency]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 9 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、設定する周波数を選び、「2 (ENT)」を押す。

設定可能周波数

200Hz/225Hz/250Hz/280Hz/315Hz/
350Hz/400Hz/450Hz/500Hz

■ C.BASS SPLIT

FREQ 315Hz

■ C. BASS SPLIT

Center Bass Split ON
Frequency 315Hz

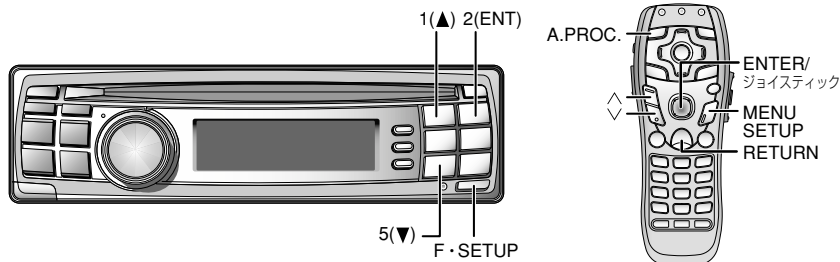
- 10 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

補 足 P86の補足説明もご覧ください。

マルチチャンネル機能を使う



リアに低域音声をミキシングする (REAR MIX)

リアスピーカーから出力される音声信号に、フロントの音声信号（低域）をミキシングします。後部座席でより聴きやすくなります。

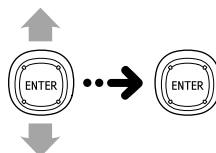
- 調整中は、プレーヤー側でストップ／ポーズ（一時停止）／ディスク交換／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。
- この機能は、PRO LOGIC II、DTS Neo:6の場合に効果があります。
- 「REAR FILL」（67ページ）がONのときは、効果がありません。



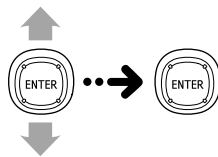
1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



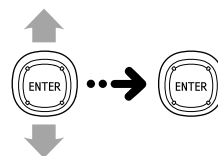
2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



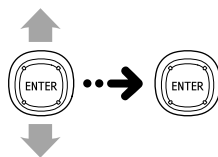
- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



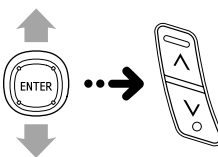
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
MULTI.CH.MGR [Multi Channel Manager]を
選び、「2 (ENT)」を押す。



- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、REAR
MIX [Rear Mix]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MODE
ON/OFF [Rear Mix ON/OFF]を選ぶ。



- 7 OFFの場合は、「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」
を押してONにする。
ONからOFFにしたい場合は、「2 (ENT)」を押した
後、「5 (▼)」を押してOFFにする。

ONに設定すると、リアから出力される音声信号に、
フロントの音声信号（低域）をミキシングできる。

■ REAR MIX

Rear Mix ON
Level 0dB

- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、LEVEL
[Level]を選び、「2 (ENT)」を押す。



マルチチャンネル機能を使う

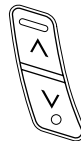
リアに低域音声をミキシングする（REAR MIX）（つづき）

- 9 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、レベルを調整し、「2 (ENT)」を押す。

レベルは、-6、-3、0、+3、+6の5段階で調整できる。

レベルが大きくなると、リアスピーカーから出力される低域の音声が増加する。（効果は、DVDなどのソフトによって異なる。）

■ REAR MIX
LEVEL 0dB



■ REAR MIX

Rear Mix ON
Level 0dB

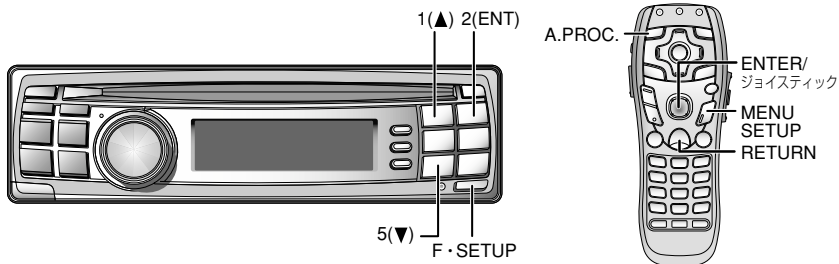
- 10 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



3Sec

補 足 P87の補足説明もご覧ください。



リアにフロントの信号を出力する (REAR FILL)

2チャンネルのソフトを再生した場合に、リアにフロントの信号を出力します。

- この機能は、2チャンネル信号のみ有効です。DTSやドルビーデジタルの5.1ch信号が入力されたときは効果がありません。
- 入力信号によっては、音の出力がフロントスピーカーのみの場合があります。
- 調整中は、プレーヤー側でストップ／ポーズ(一時停止)／ディスク交換／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。

次頁へ続く→

マルチチャンネル機能を使う

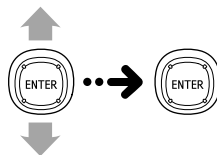
リアにフロントの信号を出力する (REAR FILL) (つづき)



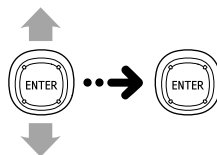
1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



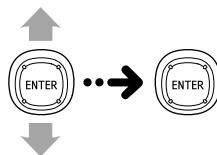
2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、
「2 (ENT)」を押す。



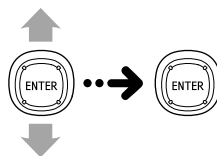
3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



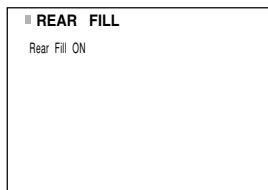
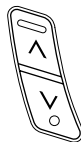
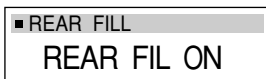
4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
MULTI.CH.MGR [Multi Channel Manager]を
選び、「2 (ENT)」を押す。



5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、REAR
FILL [Rear Fill]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 6 「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、ON/OFFを切りかえる。



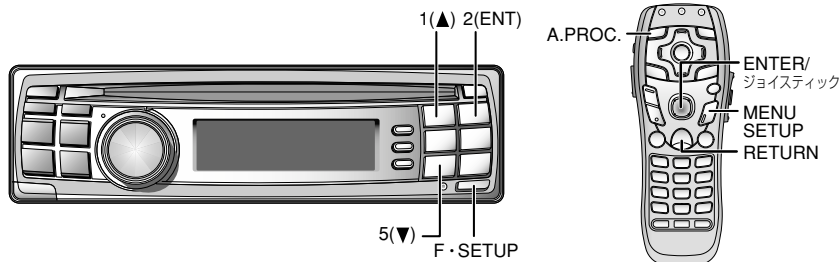
- 7 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



補 足 P87の補足説明もご覧ください。

マルチチャンネル機能を使う



迫力のある大音量再生を楽しむには (LISTEN MODE)

ドルビーデジタルでは通常の音量で十分な迫力が楽しめるように「ダイナミックレンジ」が圧縮されています。この圧縮を解除することにより、更に迫力のある「映画館のようなエネルギー感」のある音を楽しむことができます。

- この機能は、ドルビーデジタル、DTSの場合のみ有効です。
- 車外の音が聞こえる音量でお使いください。
- DVDソフトなどのソースの種類によっては効果がないものがあります。



1 「F・SETUP」を3秒以上押す。

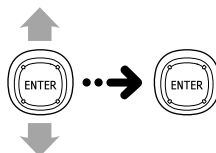
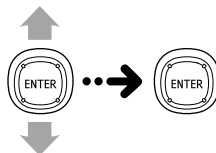
2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。

3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。

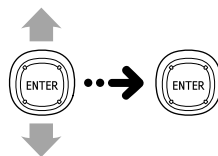


A.PROC.

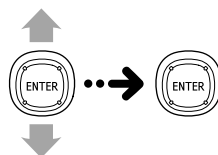
3Sec



- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MULTI.CH.MGR [Multi Channel Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



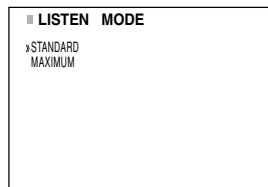
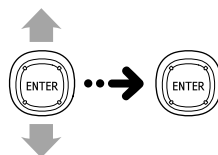
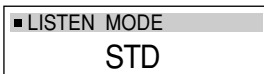
- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、LISTEN MODE [Listening Mode]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、STD [STANDARD]またはMAX [MAXIMUM]を選び、「2 (ENT)」を押す。

STD [STANDARD] ↔ MAX [MAXIMUM]

STD [STANDARD] :
通常の音量で迫力のある音を楽しむとき
MAX [MAXIMUM] :
大音量で迫力のある音を楽しむとき

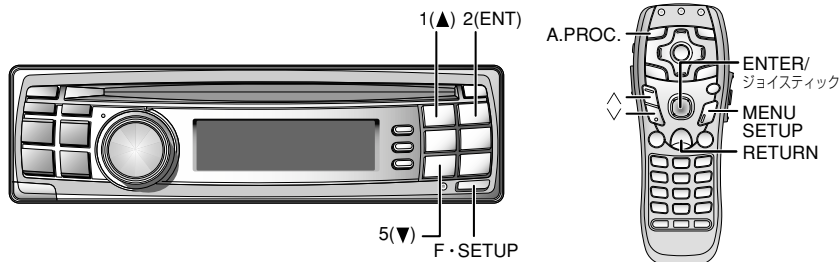


- 7 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

マルチチャンネル機能を使う



DVDレベルを調整する (DVD LEVEL)

ドルビーデジタル／PRO LOGIC II／DTS／DTS Neo:6／PCMそれぞれのモードでの音量信号レベルを設定することができます。

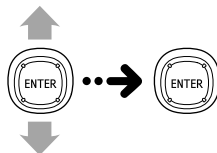
- 調整中は、プレーヤー側でストップ／ポーズ(一時停止)／ディスク交換／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。



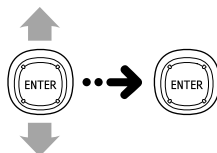
- 1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



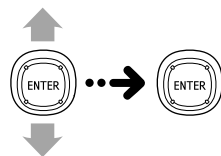
- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



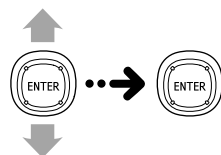
- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



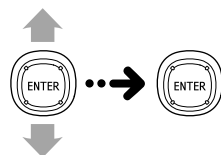
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
MEDIA.S.MGR [Media Sound Manager]を選
び、「2 (ENT)」を押す。



- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、DVD
LEVEL [DVD Volume Level Setup]を選び、
「2 (ENT)」を押す。

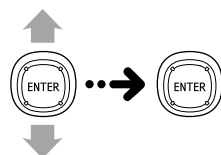


- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MODE
SELECT [Mode Select]を選び、「2 (ENT)」
を押す。



- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、調整する
項目を選び、「2 (ENT)」を押す。

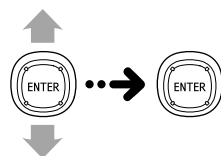
Dolby D ↔ Dolby PL II ↔ DTS <
[Dolby Digital] [Dolby Pro Logic II]
PCM ↔ DTS Neo:6 <



■ MODE SELECT

xDolby Digital
Dolby Pro Logic II
DTS
DTS Neo:6
PCM

- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、VOLUME
LEVEL [Volume Level]を選び、「2 (ENT)」を
押す。



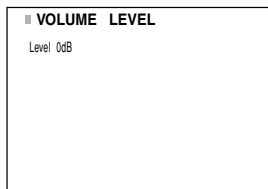
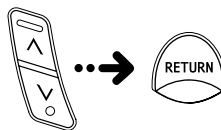
次頁へ続く→

マルチチャンネル機能を使う

DVDレベルを調整する (DVD LEVEL) (つづき)

- 9 「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、レベルを調整し、「6 (RTN)」を押す。

レベルは、-10dB～+10dB (2dBステップ) の範囲で調整できる。



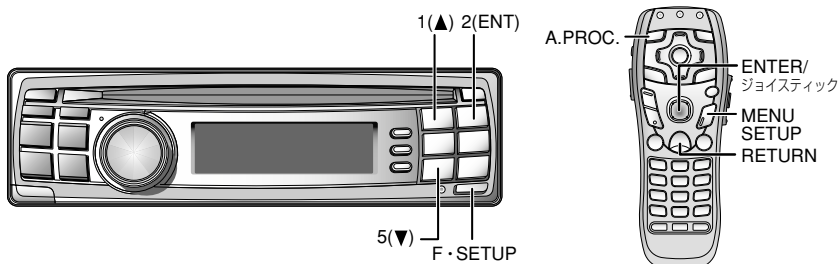
- 10 手順6～9を繰り返し、それぞれのレベルを設定する。

- 11 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

補 足 P87の補足説明もご覧ください。



6.1チャンネルの設定 (6.1CH MODE)

ドルビーデジタル EXやDTS-ESデコードの設定を行います。スピーカーの設定 (7ページ) で、SYSTEM1またはSYSTEM2を選択している場合は、設定できません。
ドルビーデジタル EXやDTS-ESについては103ページをご覧ください。

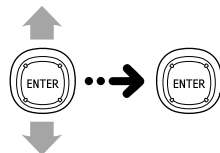
- 調整中は、プレーヤー側でストップ/ポーズ(一時停止)/ディスク交換/曲の頭出し/早送り/音声切りかえなどの操作は行わないでください。



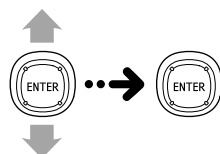
- 1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



マルチチャンネル機能を使う

6.1チャンネルの設定 (6.1CH MODE) (つづき)

- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MULTI.CH.MGR [Multi Channel Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、6.1CH MODE [6.1ch Mode]を選び、「2 (ENT)」を押す。

スピーカーの設定 (7ページ) で、SYSTEM1またはSYSTEM2を選択している場合は、6.1CHモードを選択することはできません。

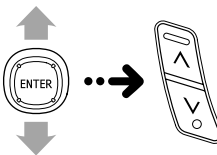
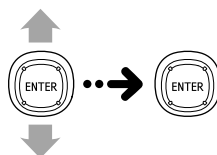
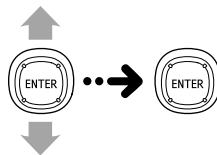
- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、Dolby EX [Dolby Digital EX]またはDTS-ESを選び、「2 (ENT)」を押す。

- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、ON/OFFを切りかえ、「2 (ENT)」を押す。

■ 6.1CH

Dolby EX ON

- 8 さらに他の項目を設定するには手順6、7を繰り返す。



■ 6. 1CH

Dolby Digital EX ON
DTS-ES OFF

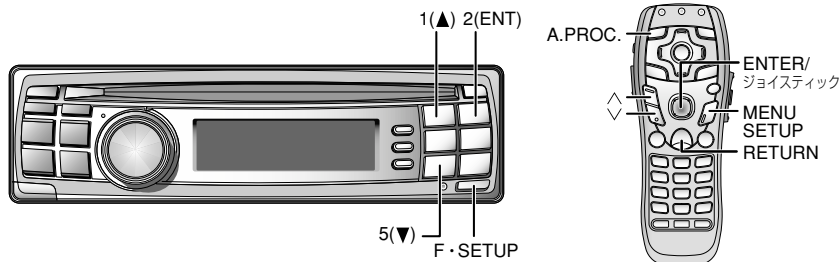
9 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



補 足 P87の補足説明もご覧ください。

マルチチャンネル機能を使う



PCM出力の設定 (PCM OUT MODE)

2チャンネルで録音された音楽信号にマトリックスサラウンド処理を行い、DOLBY PRO LOGIC IIサラウンドとして楽しんだり、リニアPCMで記憶されたディスクの再生時の出力を2chまたは3chに設定することができます。

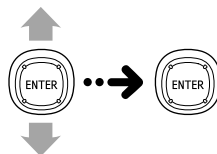
- 調整中は、プレーヤー側でストップ／ポーズ(一時停止)／ディスク交換／曲の頭出し／早送り／音声切りかえなどの操作は行わないでください。



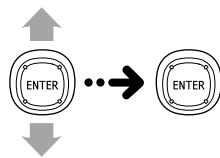
- 1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



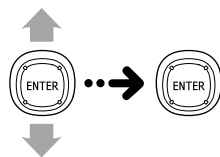
- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



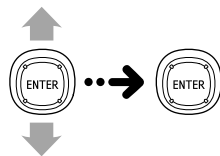
- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



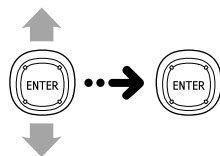
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
MULTI.CH.MGR [Multi Channel Manager]を
選び、「2 (ENT)」を押す。



- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、PCM
OUT MODE [PCM Out Mode]を選び、
「2 (ENT)」を押す。



- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、PCM
SELECT [PCM Mode Select]を選び、
「2 (ENT)」を押す。



マルチチャンネル機能を使う

PCM出力の設定 (PCM OUT MODE) (つづき)

- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、希望のモードを選び、「2 (ENT)」を押す。

PCM STEREO ↔ PCM 3ch ↔ PL II MUSIC ←
Neo:6 CINEMA ↔ Neo:6 MUSIC ↔ PL II MOVIE ←

PCM STEREO : 2ch出力 (L/R)

PCM 3ch : 3ch出力 (L/R/Center/Rear Center)

PL II MOVIE : ステレオTVショーやドルビーサラウンドでエンコードされた映画プログラムに向いています。その効果はディスクリート5チャンネルサウンドの質に迫る音場指向性の改善です。

PL II MUSIC : あらゆるステレオ音楽録音で用いられ、広く深い音場を確保できます。

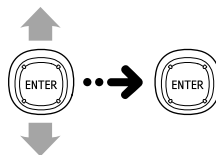
Neo:6 MUSIC : PCM音源を6チャンネルライクな立体音場へデコードします。音楽再生に適しています。

Neo:6 CINEMA : PCM音源を6チャンネルライクな立体音場へデコードします。映画再生に適しています。

- PLII MUSICを選んだ場合は、81ページの「PLII MUSICを選んだ場合」を参照してください。
- Neo:6 MUSICを選んだ場合は、84ページの「Neo:6 MUSICを選んだ場合」を参照してください。
- PLII、Neo:6を選択したときのサブウーハー出力は、フロントスピーカーをSMALLに設定した場合 (53ページ参照) に出力されます。

- 8 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



PCM SELECT

xPCM STEREO
PCM 3ch
Dolby PLII MUSIC
Dolby PLII MOVIE
DTS Neo:6 MUSIC
DTS Neo:6 CINEMA



3Sec

PL II MUSICを選んだ場合

「PL II MUSIC」 [Dolby PL II MUSIC]を選んだ場合は、以下の方法でさらに各設定が行えます。

・センター幅の調整 (CENTER WIDTH)

センターチャンネル定位をセンタースピーカーとL/Rスピーカーとの間に調整することにより、最良のボーカル定位を提供します。



- 1 PCM OUT MODEで、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、Dolby PL II [Dolby Pro Logic II]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CENTER WIDTH [Center Width]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MODE ON/OFF [Center Width ON/OFF]を選ぶ。

- 4 OFFの場合は、「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」を押してONにする。
ONからOFFにしたい場合は、「2 (ENT)」を押した後、「5 (▼)」を押してOFFにする。

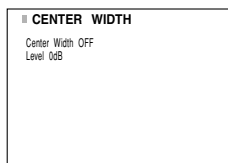
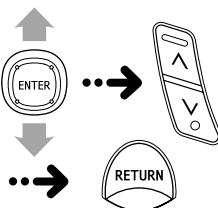
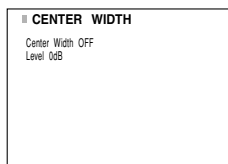
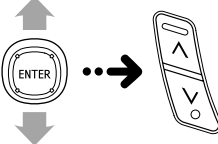
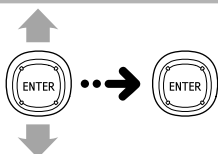
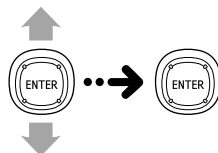
ONに設定するとセンターチャンネル定位をセンタースピーカーとL/Rスピーカーとの間に調整することにより、最良のボーカル定位を提供する。

- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、LEVEL [Level]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、レベルを調整し、「6 (RTN)」を押す。

レベルは0～7まで調整でき、レベルが大きくなるとセンターチャンネル定位はセンタースピーカーの位置から両サイドに移る。

■ CENTER WIDTH
LEVEL 0



マルチチャンネル機能を使う

PCM出力の設定 (PCM OUT MODE) (つづき)

・フロントとリアのレベル差の調整 (DIM CONTROL)

音場を前方寄りまたは後方寄りに調整することができます。
空間的效果がなさ過ぎたり強すぎたりする録音に対して望ましいバランスをすべてのスピーカーから得るものです。

- 7 Dolby PL IIモードで、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、DIM CONTROL [Dimension Control]を選び、「2 (ENT)」を押す。

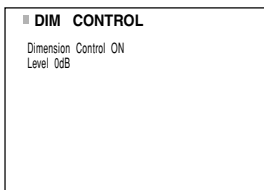
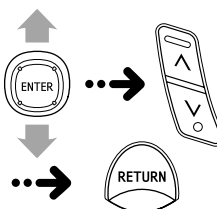
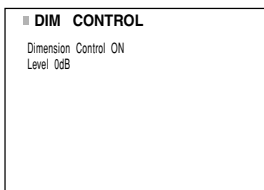
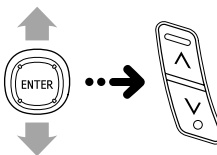
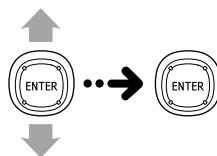
- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MODE ON/OFF [Dimension Control ON/OFF]を選ぶ。

- 9 OFFの場合は、「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」を押してONにする。
ONからOFFにしたい場合は、「2 (ENT)」を押した後、「5 (▼)」を押してOFFにする。
ONに設定すると音場を前方寄りまたは後方寄りに調整することができる。

- 10 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、LEVEL [Level]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 11 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、レベルを調整し、「6 (RTN)」を押す。
レベルは-3～+3まで調整でき、レベルが大きくなると音場が前方寄りになる。

■ DIM CONTROL
LEVEL 0

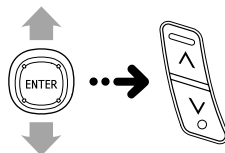


・サラウンド効果を強調する (PANORAMA)

フロントのステレオ像をサラウンドスピーカーまで拡張することにより、側面音像による刺激的な「包み込み」効果を生み出すことができます。

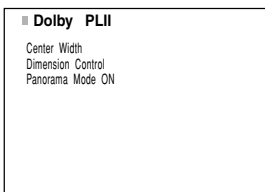
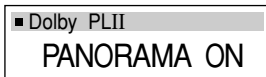


- 12** Dolby PL IIモードで、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、PANORAMA ON/OFF [Panorama Mode ON/OFF]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 13** 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、ON/OFFを切りかえ、「2 (ENT)」を押す。

ONに設定するとフロントのステレオ像をサラウンドスピーカーまで拡張することにより、側面音像による刺激的な「包み込み」効果を生み出すことができる。



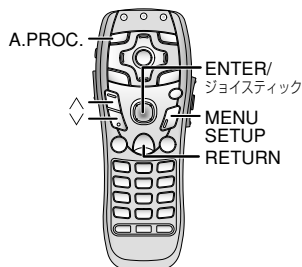
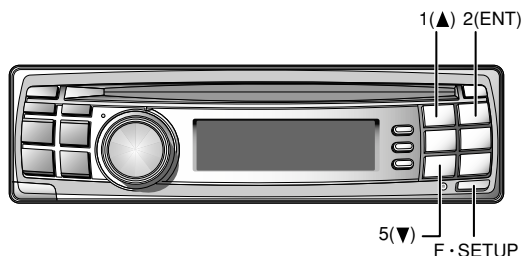
- 14** 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

マルチチャンネル機能を使う

PCM出力の設定 (PCM OUT MODE) (つづき)

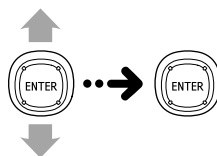


Neo:6 MUSICを選んだ場合

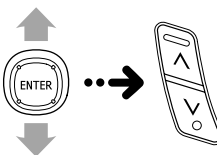
「Neo:6 MUSIC」 [DTS Neo:6 MUSIC]を選んだ場合は、以下の方法でさらにセンタースピーカーのレベルを調整するCGAINを設定することができます。



- 1 PCM OUT MODEで、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、DTS Neo:6を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、CGAIN ON/OFFを選ぶ。

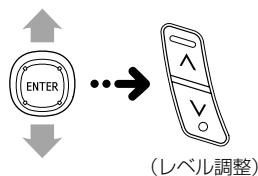


- 3 OFFの場合は、「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」を押してONにする。
ONからOFFにしたい場合は、「2 (ENT)」を押した後、「5 (▼)」を押してOFFにする。

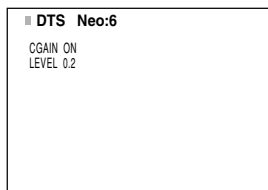
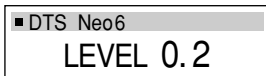
■ DTS Neo:6

CGAIN ON
LEVEL 0.2

- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、LEVELを選び、「2 (ENT)」を押す。



- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、レベルを調整し、「2 (ENT)」を押す。
レベルは0～0.5 (0.1ステップ) まで調整できる。



- 6 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

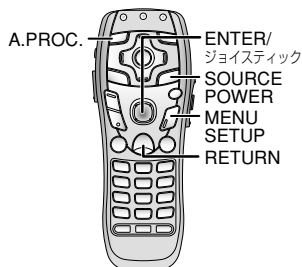
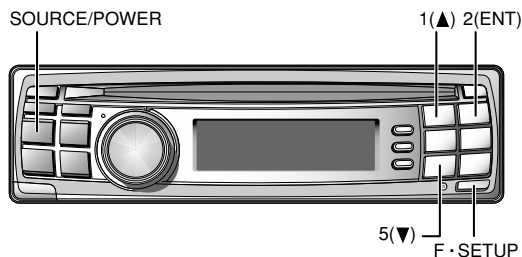


補 足 P87の補足説明もご覧ください。

マルチチャンネル機能を使う

● 補足説明		下記では、P50～P85についての補足説明が記載されています。 ご参照下さい。
タイトル	説 明	関連ページ
スピーカーセット アップ (Dolby SP)	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	▶ 51ページ
	各スピーカーの設定を変更すると、その設定条件により変更したスピーカー以外の出力も変化することがあります。	▶ 51ページ
	センタースピーカーをOFFにすると、フロントスピーカーから出力される音声信号に、センターの音声信号をプラスします。ただし、DVD-AudioのDown MIXが禁止されているディスクでは、センターの音声信号をプラスすることができません。	▶ 51ページ
	ドルビースピーカーセットアップでOFFに設定したチャンネルはスピーカーセレクトもOFFに設定してください。(7ページ参照)	▶ 51ページ
	PRO LOGIC II、Neo:6でご利用の場合、フロントスピーカーを「LARGE」に設定するとサブウーハーは出力されません。	▶ 51ページ
	セットアップは「Front」「Rear」「Center」「Rear C」「Sub WF」のすべてを行ってください。セットアップを行わなかった場合は「Front」「Rear」「Center」「Rear C」「Sub WF」のバランスが崩れることがあります。	▶ 51ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	▶ 51ページ
スピーカーレベルを 調整する (OUTPUT LEVEL)	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	▶ 55ページ
	フロントスピーカーを基準に調整を行ってください。	▶ 55ページ
	スピーカーが「OFFモード」のときは、そのスピーカーのレベルは調整できません。「スピーカーセットアップ」(P51)を参照してください。	▶ 55ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	▶ 55ページ
画像を調整する (BI PHANTOM)	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	▶ 58ページ
	スピーカーセットアップの設定がセンター「OFF」のときは、効果がありません。	▶ 58ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	▶ 58ページ
フロントL/Rにセン ターの低域音声をミ キシングする (C.BASS SPLIT)	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	▶ 61ページ
	スピーカーセットアップの設定がセンター「OFF」のときは、効果がありません。	▶ 61ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	▶ 61ページ

タイトル	説 明	関連ページ
リアに低域音声をミキシングする (REAR MIX)	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことも同様に行えます。	▶ 64ページ
	スピーカーセットアップの設定がリア「OFF」のときは、効果がありません。	▶ 64ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	▶ 64ページ
リアにフロントの信号を出力する (REAR FILL)	スピーカーセットアップの設定がリア「OFF」のときは、効果がありません。	▶ 67ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	▶ 67ページ
	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことも同様に行えます。	▶ 68ページ
迫力のある大音量再生を楽しむには (LISTEN MODE)	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことも同様に行えます。	▶ 70ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	▶ 70ページ
DVDレベルを調整する (DVD LEVEL)	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことも同様に行えます。	▶ 72ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	▶ 72ページ
6.1チャンネルの設定 (6.1CH MODE)	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことも同様に行えます。	▶ 75ページ
	スピーカーが「OFFモード」のときは、そのスピーカーから音声は出力されません。「スピーカーの設定をする」(7ページ)、「スピーカーセットアップ」(51ページ)を参照してください。	▶ 75ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	▶ 75ページ
PCM出力の設定 (PCM OUT MODE)	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことも同様に行えます。	▶ 78ページ
	スピーカーが「OFFモード」のときは、そのスピーカーから音声は出力されません。「スピーカーの設定をする」(7ページ)を参照してください。	▶ 78ページ
	DOLBY PRO LOGIC IIやDTS Neo:6の設定は、2chオーディオ (PCM、ビットストリームを含む) に対してのみ有効です。	▶ 78ページ
	設定後に設定内容を記憶させることをお勧めします。記憶方法は90ページを参照してください。	▶ 78ページ
	DOLBY PRO LOGIC IIまたはDTS Neo:6モードを選んでいる状態で、DVD-Audioの96kHzまたは192kHz再生を行っている場合は、自動的に48kHzヘダウンサンプリングを行って再生します。	▶ 80ページ
	PL II MUSICを選んだ場合 スピーカーセットアップの設定がセンター「OFF」のときはCENTER WIDTHの効果がありません。	▶ 81ページ
	CENTER WIDTHが有効な場合は、BI PHANTOMはOFFになります。	▶ 81ページ



外部入力の設定

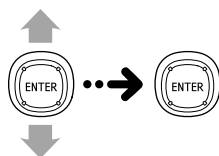
RCA音声出力を持つテレビやビデオを本機に入力させることができます。



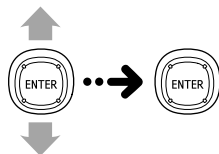
- 1 「F • SETUP」を3秒以上押す。



- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。

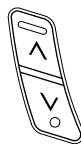


- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、AUX SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



- 4 「2 (ENT)」を押した後、「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、ON/OFFを切りかえる。

■ AUX SETUP
AUX-AP ON



■ AUX SETUP

AUX-AP ON

- 5 設定が終了したら、「F・SETUP」を3秒以上押す。

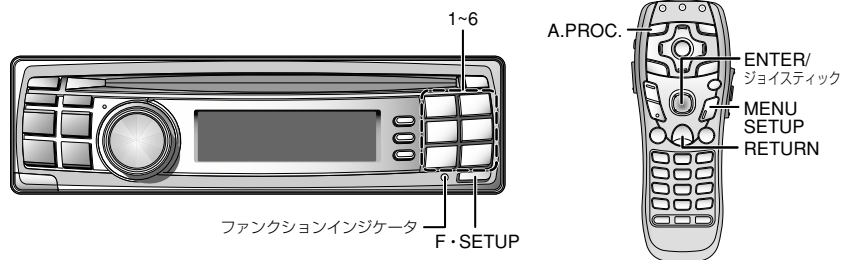
- AUX ON/OFF設定後は、一度イグニッションキーをOFFにし、再びイグニッションキーをACCまたはONにしてください。設定内容が反映されます。
- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



- 6 「SOURCE/POWER」を押して、AUX-AP（外部入力）モードを選び、音量などを調整する。



補 足 P101の補足説明もご覧下さい。



記憶する

本機は調整／設定した内容を6つまで記憶させることができます。
下記調整／設定項目のすべてが1つのプリセットメモリーに記憶されます。

調整／設定項目	参照ページ
スピーカーの設定	7
時間補正	19、24
イコライザーの調整	30、96
クロスオーバーネットワークの調整／位相切りかえ	40
MXの設定	45
スピーカーセッアップ	51
スピーカーレベルの調整	55
映像の調整※	58
リアに低域音声をミキシングする※	64
リアにフロントの信号を出力する※	67
迫力のある大音量再生を楽しむ※	70
DVDレベルの調整	72
PCM出力の設定※	78

※入力信号によっては効果がありません。



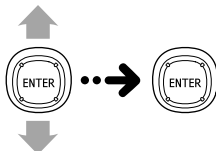
1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



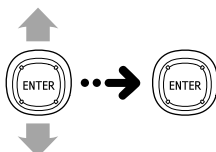
A.PROC.

3Sec

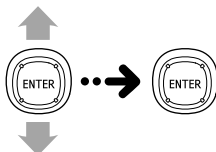
2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、
「2 (ENT)」を押す。



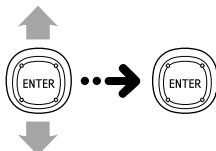
3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、
AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



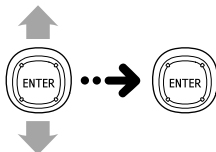
4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、PRESET
[Preset]を選び、「2 (ENT)」を押す。



5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MODE
[Recall or Store]を選び、「2 (ENT)」を押す。



6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、STORE
[Store]を選び、「2 (ENT)」を押す。



記憶する（つづき）

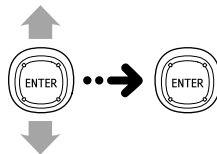
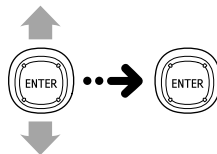
- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、PRESET NO [Preset No.]を選び、「2 (ENT)」を押す。

- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、記憶させたいプリセットNo.を選び、「2 (ENT)」を押す。
記憶処理のため記憶するまで約5秒かかります。



- 9 終了するには、「F・SETUP」を3秒以上押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



補 足 P101の補足説明もご覧ください。

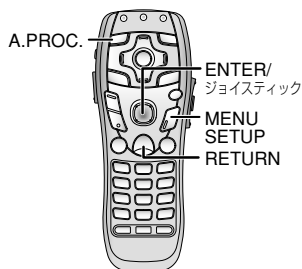
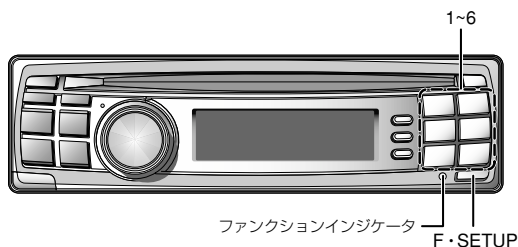
調整／設定した内容を簡単に記憶するには



ヘッドユニット本体からの操作になります。

- 1 「F・SETUP」を押して、ファンクションインジケータを青色にする。

- 2 「1」～「6」のいずれかを2秒以上押して、プリセットNo.に記憶する。



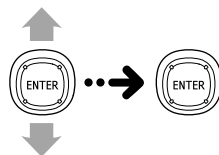
記憶した値の呼び出し



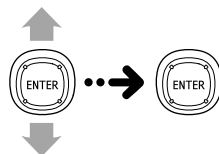
- 1 「F・SETUP」を3秒以上押す。



- 2 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、M.M.Manager [Multi Media Manager]を選び、「2 (ENT)」を押す。



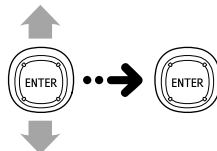
- 3 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、AP SETUPを選び、「2 (ENT)」を押す。



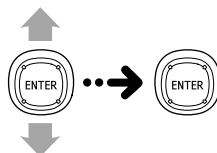
次頁へ続く→

記憶した値の呼び出し（つづき）

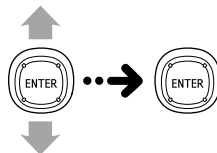
- 4 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、PRESET [Preset]を選び、「2 (ENT)」を押す。



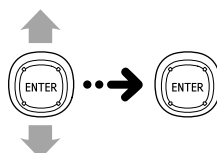
- 5 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、MODE [Recall or Store]を選び、「2 (ENT)」を押す。



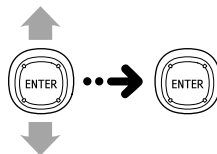
- 6 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、RECALL [Recall]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 7 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、PRESET NO [Preset No.]を選び、「2 (ENT)」を押す。



- 8 「1 (▲)」または「5 (▼)」を押して、呼び出したいプリセットNo.を選び、「2 (ENT)」を押す。
プリセットメモリーは、多くの設定／調整内容を記憶しています。そのため、記憶したプリセットメモリーを呼び出すには十数秒かかります。



■ PRESET
RECALL P1

9 終了するには、「F・SETUP」を3秒以上押す。

- 設定モードでは、「6 (RTN)」またはリモコンの「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。



記憶した調整を簡単に呼び出すには



- 1 「F・SETUP」を押して、ファンクションインジケータを青色にする。

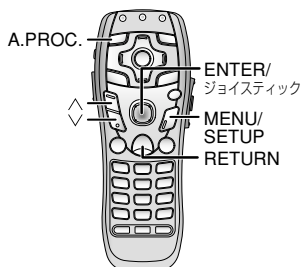


- 2 「1」～「6」のいずれかを押して、記憶した調整内容呼び出す。



「A.PROC.」を押すたびに呼び出されるプリセットNo.が切りかわる。

補 足 P101の補足説明もご覧下さい。



イコライザーの調整（DVI-9990J/TVI-T990接続時のみ）

別売ヘッドユニット（DVI-9990J）と別売モニター（TVI-T990）を組み合わせた場合、イコライザーの調整（30ページ）とは別に、モニター画面で調整内容を確認しながらEQ調整を行うことができます。



ヘッドユニット添付リモコンからの操作になります。

リモコン裏面の切りかえスイッチを「H/U」に切りかえてください。

- 1 ヘッドユニットのディフイートがOFFであることを確認する。

- 2 「A.PROC.」を3秒以上押す。

- 3 「ジョイスティック」↑↓でEQ SETUPを選び、「ENTER」を押す。

- 4 「ジョイスティック」↑↓でGraphic E.QまたはParametric E.Qを選び、「ENTER」を押す。

グラフィックEQとパラメトリックEQはどちらか一方のみ有効です。

- 5 「ジョイスティック」↑↓でSETUPを選び、「ENTER」を押す。

グラフィックEQの調整→P97へ

パラメトリックEQの調整→P99へ

グラフィックEQの調整

6 「ジョイスティック」←→で「L/R」または「L+R」を選び、「ENTER」を押す。

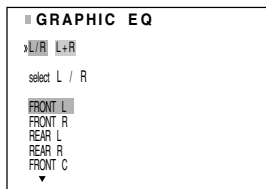
L/R：チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。

L+R：チャンネルL/Rで同じ調整値に設定される。

「L+R」を選んだ場合は、さらに「ジョイスティック」←→でLまたはRを選び、「ENTER」を押す。

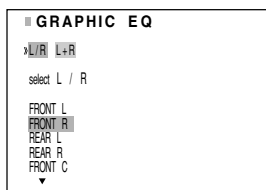
L：現在のLchの設定を有効にし、L/Rで同じ調整値に設定される。

R：現在のRchの設定を有効にし、L/Rで同じ調整値に設定される。



7 「ジョイスティック」↑↓で希望のチャンネルを選び、「ENTER」を押す。

選択できるチャンネルは、システム設定（9ページ）によって異なる。



8 「ジョイスティック」←→で周波数を選び、「∧」または「∨」を押してレベルを調整する。

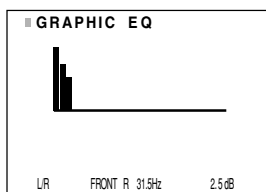
調整可能周波数

フロント／リア／センター：20Hz～20kHz
(1/3オクターブ間隔)

サブウーハー：20Hz～160Hz
(1/3オクターブ間隔)

レベル

±9dB 0.5ステップ



グラフィックEQの調整（つづき）

9 手順8の操作で全ての周波数帯を調整し、「ENTER」を押す。

10 さらに別のチャンネルを調整するには手順7～9を繰り返す。

11 設定が終了したら、「MENU/SETUP」を3秒以上押す。

パラメトリックEQの調整

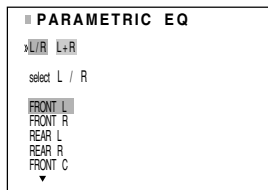
6 「ジョイスティック」 ← → で「L/R」または「L+R」を選び、「ENTER」を押す。

L/R : チャンネルL/Rで独立した調整値に設定できる。

L+R : チャンネルL/Rで同じ調整値に設定される。

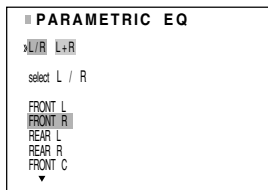
「L+R」を選んだ場合は、さらに「ジョイスティック」 ← → でLまたはRを選び、「ENTER」を押す。
L : 現在のLchの設定を有効にし、L/Rで同じ調整値に設定される。

R : 現在のRchの設定を有効にし、L/Rで同じ調整値に設定される。



7 「ジョイスティック」 ↑ ↓ で希望のチャンネルを選び、「ENTER」を押す。

選択できるチャンネルは、システム設定（9ページ）によって異なる。



8 「ジョイスティック」 ↑ ↓ でバンドを選び、「ENTER」を押す。

調整可能バンド数

フロント/リア/センター : 10バンド

サブウーハー : 2バンド

PARAMETRIC EQ				
L/R	FRONT R	Freq	Width	Level
Band 1		31.5	0.5	0
Band 2		63	0.5	0
Band 3		125	0.5	0
Band 4		250	0.5	0
Band 5		500	0.5	0
Band 6		1K	0.5	0
Band 7		2K	0.5	0

9 「ジョイスティック」 ← → でFreq（周波数）、Width（バンド幅（Q））、Level（レベル）の項目を選び、「↑」または「↓」を押して各項目を調整する。

- 調整可能な周波数は、106ページを参照してください。隣り合うバンドの周波数は、4ステップ以内に調整することができません。
- バンド幅は0.5/1/2/3/4/5の6段階に調整できます。
- レベルは±9dB（0.5dBステップ）の範囲で調整できます。

PARAMETRIC EQ				
L/R	FRONT R	Freq	Width	Level
Band 1		31.5	3	0
Band 2		63	0.5	0
Band 3		125	0.5	0
Band 4		250	0.5	0
Band 5		500	0.5	0
Band 6		1K	0.5	0
Band 7		2K	0.5	0

パラメトリックEQの調整（つづき）

10 各項目の調整が終了したら、「ENTER」を押す。

11 さらに別のバンドを調整するには、手順8～10を繰り返す。

12 さらに別のチャンネルを調整するには「RETURN」を押した後、手順7～11を繰り返す。

13 設定が終了したら、「MENU/SETUP」を3秒以上押す。

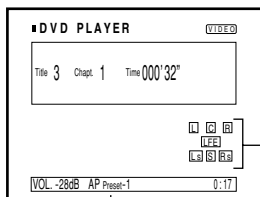
- 設定中に「RETURN」を押すと、一つ前の項目に戻ります。

補 足 P101の補足説明もご覧ください。

● 補足説明		
このページにはP88～P100についての補足説明が記載されています。ご参照下さい。		
タイトル	説 明	関連ページ
外部入力の設定	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	▶▶ 88ページ
記憶する	ヘッドユニットがディフェルトOFFのときのみ有効です。	▶▶ 90ページ
	記憶した内容はバッテリー電源コードをはずしたときでも消去されません。	▶▶ 90ページ
	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	▶▶ 91ページ
	記憶中は、他の操作を行わないでください。	▶▶ 92ページ
記憶した値の呼び出し	手順1のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	▶▶ 93ページ
	ヘッドユニットがディフェルトOFFのときのみ有効です。	▶▶ 93ページ
	呼び出し中は、他の操作を行わないでください。	▶▶ 94ページ
	Preset呼び出し前のスピーカーシステム設定 (9ページ) と呼び出そうとしたPreset No.のスピーカーシステム設定が異なる場合、適切な音場とならない (またはスピーカー破壊の恐れがある) ため、“SP SYS ERR” と数秒間表示し、Presetを呼び出すことができません。	▶▶ 95ページ
イコライザーの調整 (DVI-9990J／TVI-T990接続時のみ)	手順2のリモコン操作は、「MENU (SETUP)」を3秒以上押して、ジョイスティック上下でAP SETUPを選び、ジョイスティックを押すことでも同様に行えます。	▶▶ 96ページ

モニターディスプレイ表示について

例) DVDビデオモード



プリセット No. 表示

入力信号表示

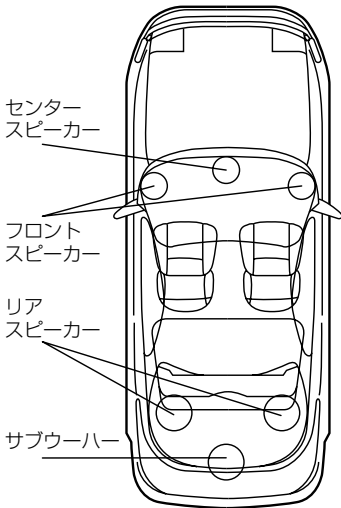
入力された信号により
表示が変わります。
入力なしの場合は
トーンダウンします。

- L : 左フロントチャンネル
- R : 右フロントチャンネル
- C : センターチャンネル
- Ls : 左サラウンドチャンネル
- Rs : 右サラウンドチャンネル
- S : モノラルサラウンド信号
- LFE : 低域ディープバス信号

用語解説

ドルビーデジタル

ドルビーデジタルはドルビーラボラトリーズが開発したデジタルオーディオ圧縮技術で、大量のオーディオデータを効率的にディスクに記録できるようにします。モノラル（1チャンネル）から5.1チャンネルのサラウンドサウンドにいたるすべてのオーディオ信号に適合しています。各チャンネルへの信号は完全に独立し、さらに高品質のデジタルサウンドのため音質の低下はまったくありません。



ドルビーデジタル/DTSを
楽しむためのスピーカーレイアウト

DTS

デジタル・シアター・システムズ社が開発した映画館用の高音質サラウンドシステム「DTSサウンドシステム」の家庭用デジタルサラウンドフォーマットです。

DTSは6本の独立した音声トラックを持ち、劇場公開映画などで使われている高品質の臨場感あふれるDTSサラウンドを楽しめます。

DTSはDigital Theater Systemの略。

DOLBY PRO LOGIC II

DOLBY PRO LOGIC IIは、2チャンネルソースを5チャンネルで全帯域再生します。それを行うのが、ソースにない音や音の色付けを加えることなく、オリジナル録音の空間的特質を引き出す先進的で高音質のマトリックスサラウンドデコーダです。

リニアPCM音声（LPCM）

音楽CDに用いられている信号記録方式。音楽CDでは、44.1kHz/16bitで記録されているのに対し、DVDでは48kHz/16bit～96kHz/24bitで記録されていますので、音楽CDよりも高音質の再生ができます。

DOLBY DIGITAL EX

ドルビーデジタル EXは5.1チャンネルのプログラムから6チャンネルの全帯域出力を作り出す技術です。プログラム上ではサラウンド2チャンネルに記録されている信号から、マトリックスデコーダを使用して、3つのサラウンドチャンネルを取り出しています。ドルビーデジタル EX再生モードで最良の効果を発揮させるには、ドルビーデジタルサラウンド EX方式の映画サウンドトラックに対してご使用ください。

DTS-ES

DTS-ESは6.1chのサラウンド音声を再生する技術です。DTS-ESには6.1chすべての音声独立に記録されている「ディスクリット」と5.1chの音声から6.1chを作り出す「マトリックス」の2通りがあり、記録チャンネル数に応じて自動で切りかえられます。

DTS Neo:6

DTS Neo:6は2チャンネルのソースを6チャンネルで再生します。オリジナルソースの繊細さそのままの自然な音場再生をさせることができます。

故障かな？と思ったら

操作ミスや勘違いを故障と間違えていませんか？

→ 接続・配線は正しく行われていますか？

→ 下の表をもう一度ご確認ください。

→ それでも直らないときは、お買い上げ店、またはお近くのお問い合わせ窓口（P109）にご相談ください。

- 操作中に停止したままになったり正常に動作しなくなった場合は、ヘッドユニット側の電源を一度OFF/ONしてください。それでも正常に動作しない場合は、下表を参照して処置を行ってください。

動作しない。

ヘッドユニット側のディスプレイに何も表示されない。

- 車のイグニッションキーがOFFになっている。
 - ・ 車のイグニッションキーをONにする。
- 本機の電源が入っていない。
 - ・ 車のイグニッションキーをONにし、ヘッドユニット側の電源を入れる。
- 電源コードの接続が不完全。
 - ・ 電源コードの接続を完全に行う。
- ヒューズが切れている。
 - ・ 規定容量のヒューズと交換する。

電源は入るが音が出ない。

- 音量レベルが最小になっている。
 - ・ ヘッドユニット側で音量レベルを上げる。

スピーカーから音が出ていない。

- コードの接続が不完全。
 - ・ コードの接続を完全に行う。
- スピーカーが「OFFモード」になっている。
 - ・ スピーカーを「ONモード」にする。（→P7、51）
- サブウーハーが「OFF」になっている。
 - ・ サブウーハーを「ON」にする。（→P7、51）

DVDの音が小さい

- CDとDVDでは、音声レベルに差があるため。
 - ・ DVDレベル調整を行う。(→P72)

サウンド調整ができない。

- ヘッドユニットのディフィートがONになっている。
 - ・ ヘッドユニットのディフィートをOFFにする。
-

グラフィックEQ BAND数：

フロント (L/R) 31バンド
リア (L/R) 31バンド
センター 31バンド
サブウーハー 10バンド

グラフィックEQブーストカットレンジ：

±9dB

パラメトリックEQ BAND数：

フロント／リア／
センター 10バンド
サブウーハー 2バンド

パラメトリックEQ 周波数：

フロント／リア／センター

バンド1： 20/22/25/28/31.5/36/
40/45/50/56/63/71/80/
90/100/110/125/140/
160/180/200/220/250/
280/315 (Hz)

バンド2： 31.5/36/40/45/50/56/
63/71/80/90/100/110/
125/140/160/180/200/
220/250/280/315/360/
400/450/500 (Hz)

バンド3： 50/56/63/71/80/90/
100/110/125/140/160/
180/200/220/250/280/
315/360/400/450/500/
560/630/710/800 (Hz)

バンド4： 80/90/100/110/125/
140/160/180/200/220/
250/280/315/360/400/
450/500/560/630/710/
800/900/1k/1.1k/1.2k (Hz)

バンド5： 125/140/160/180/
200/220/250/280/315/
360/400/450/500/560/
630/710/800/900/1k/
1.1k/1.2k/1.4k/1.6k/1.8k/
2k (Hz)

バンド6： 200/220/250/280/315/
360/400/450/500/560/
630/710/800/900/1k/
1.1k/1.2k/1.4k/1.6k/1.8k/
2k/2.2k/2.5k/2.8k/3.2k (Hz)

バンド7： 315/360/400/450/500/
560/630/710/800/900/
1k/1.1k/1.2k/1.4k/1.6k/
1.8k/2k/2.2k/2.5k/2.8k/
3.2k/3.6k/4k/4.5k/5k (Hz)

バンド8： 500/560/630/710/800/
900/1k/1.1k/1.2k/1.4k/
1.6k/1.8k/2k/2.2k/2.5k/
2.8k/3.2k/3.6k/4k/4.5k/
5k/5.6k/6.3k/7.1k/8k (Hz)

バンド9： 800/900/1k/1.1k/1.2k/
1.4k/1.6k/1.8k/2k/2.2k/
2.5k/2.8k/3.2k/3.6k/4k/
4.5k/5k/5.6k/6.3k/7.1k/
8k/9k/10k/11k/12.5k (Hz)

バンド10： 1.2k/1.4k/1.6k/1.8k/2k/
2.2k/2.5k/2.8k/3.2k/3.6k/
4k/4.5k/5k/5.6k/6.3k/7.1k/
8k/9k/10k/11k/12.5k/
14k/16k/18k/20k (Hz)

サブウーハー

バンド1： 20/22/25/28/31.5/36/
40/45/50/56/63/71/
80/90/100/110/125(Hz)

バンド2： 31.5/36/40/45/50/56/
63/71/80/90/100/
110/125/140/160/180/
200 (Hz)

パラメトリックEQブーストカットレンジ：

±9dB

時間補正コントロールレンジ：

0～20ms（0.05msステップ）

周波数特性：

20Hz～20kHz

20Hz～40kHz（DVD-Audio再生時）

SN比：

110dB（IHF-A）

チャンネルセパレーション：

90dB

入力感度：

1.2V（アナログ）

サブウーハークロスオーバー：

20～180Hz（1/6oct/ステップ）

定格出力：

4V（負荷10k Ω 、IONBUS及び
DVD-Audio LINK時）

2V（負荷10k Ω 、AUX入力時）

ひずみ率：

0.01%

入カインピーダンス：

10k Ω 以上

出カインピーダンス：

1k Ω 以下

音声出力レベル

プリアウト：4V/10K Ω （最大）

（フロント/リア）

プリアウト：4V/10K Ω （最大）

（サブウーハー/センター）

AUX IN：1.2V/10K Ω

外形寸法：

260（幅）×68（高さ）×161（奥行）mm

重量：

2.3kg

<製品構成>

品 名	数 量
取り付け用部品類	1 式
取扱説明書・保証書類	1 式
マイク	1 式

- 製品の規格および外観は、改良のため予告なく変更する場合があります。
- 本説明書のイラストは、印刷条件により、印象が異なる場合があります。
- 本書の一部または全部を無断で転載しないでください。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。

DOLBY、ドルビー、PRO LOGIC及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

“DTS”、“DTS-ES” および “Neo:6” は Digital Theater Systems, Inc.の登録商標です。

保証書について

- この製品には保証書が添付されています。お買上げの際、お受け取りください。
- 必ず「販売店印・お買上げ日」が記入されていることをご確認ください。
- 保証書は再発行できませんので、大切に保管してください。

アフターサービスについて

- **調子が悪いとき**
まず、この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- **それでも調子が悪いとき**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。お買上げ店、または109ページの「お問い合わせ窓口」にあるお近くの修理ご相談窓口に、修理を依頼してください。
- **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは、保証書をご覧ください。
- **保証期間経過後の修理**
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。
- **補修用性能部品**
製造打ち切り後、最低6年間保有しています。
- **アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点**はお買上げ店、または109ページの「お問い合わせ窓口」にお問い合わせください。
- 一部の付属部品は補修部品も用意しています。部品を無くしたり壊したりしたときは、お買上げ店にお問い合わせください。

お問い合わせ窓口

(般)

(平成16年7月1日現在)

お問い合わせ窓口

- 製品に関するご相談／お問い合わせは、お買い上げ店または下記「製品ご相談窓口」をご利用ください。
- 修理に関するお問い合わせは、下記「修理ご相談窓口」をご利用ください。
- ご相談窓口の名称・電話番号・所在地は、変更になる場合があります。



製品ご相談窓口

インフォメーションセンター

インフォメーションセンター 西日本分室

・電話は混雑が予想されます。FAXでのお問い合わせをおすすめします。

FAX：048-662-6676

・TEL：048-662-6636

・TEL：06-6386-2236

・電話受付時間 土日祝日、

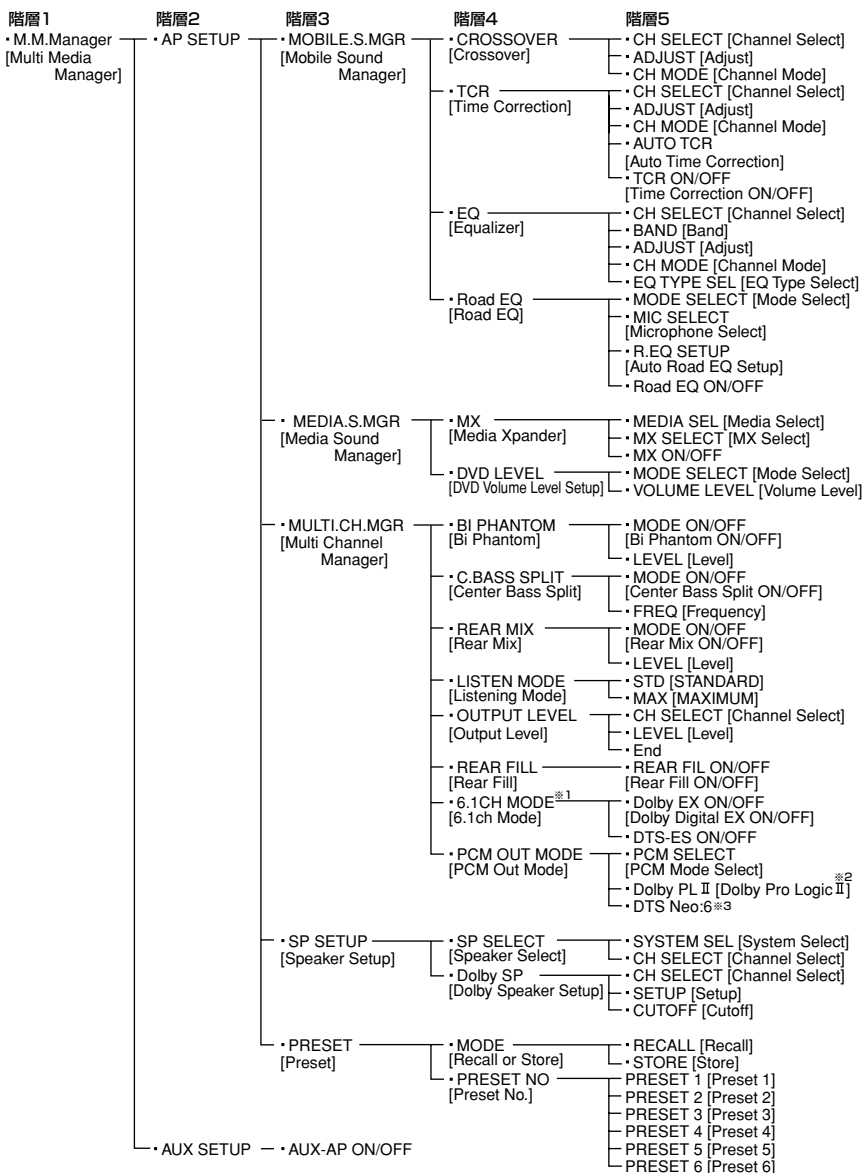
弊社休業日を除く9:30～17:30

営業所・販社名	電話番号	住 所	担当都道府県
北海道エリア	札幌オフィス 011-621-4485	〒064-0821 北海道札幌市中央区北1条西22丁目2番1号 上野ビル	北海道全域
東北エリア	仙台オフィス 022-239-5331 郡山オフィス 024-925-3811 盛岡オフィス 019-664-1210	〒983-0043 宮城県仙台市宮城野区森野町3丁目9番5号 〒963-8051 福島県郡山市前久山町八山田字上布池11番5号 〒7020-0114 岩手県盛岡市高松4丁目2番2号 オリエンツ5ビル	宮城県/山形県/秋田県 福島県 青森県/岩手県
北関東エリア	埼玉オフィス 048-664-7701 高崎オフィス 027-361-5813 松本オフィス 026-48-5772 宇都宮オフィス 028-610-8890 新潟オフィス 025-257-8880	〒331-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町3丁目179番 〒370-0073 群馬県高崎市緑町3丁目16番6 〒390-0852 長野県松本市緑立830番地の11 深澤ビル102号 〒321-0942 栃木県宇都宮市緑2-28-12 〒950-0852 新潟県新潟市石山1丁目34 エクセレント石山	埼玉県 群馬県 長野県/山梨県 栃木県 新潟県
東関東エリア	東関東オフィス 03-5666-5226	〒133-0061 東京都江戸川区篠崎町2-406-1	千代田区/中央区/江東区/墨田区/台東区/荒川区/ 文京区/江戸川区/足立区/千代田/茨城県
南関東エリア	東京オフィス 045-541-7261	〒223-0057 神奈川県横浜市中区新羽町1767番地 アルプス電気横浜事業所内5F	東京都(千代田区/中央区/江東区/墨田区/台東区/荒川区/文京区/江戸川区/足立区以外) 神奈川県/静岡県(大井川以西)
中部圏エリア	中部オフィス 053-779-5655 北陸オフィス 076-240-8111	〒465-0021 愛知県名古屋市中区東区藤子石3丁目108 〒921-8066 石川県金沢市矢木3丁目22番1号	愛知県/三重県/岐阜県/静岡県(大井川以西) 石川県/富山県/福井県
近畿圏エリア	大阪オフィス 06-636-4136	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	大阪府/奈良県/和歌山県
中国圏エリア	岡山オフィス 086-243-8257 広島オフィス 082-846-1175 高松オフィス 087-869-3086	〒700-0975 岡山県岡山市今4丁目5番2号 〒731-0138 広島県広島市安佐南区紙園2丁目11番16号 〒761-8071 香川県高松市伏石町1473-11	岡山県/高知県/鳥取県 広島県/山口県 愛媛県/香川県/愛媛県
九州エリア	福岡オフィス 092-452-8870 長崎オフィス 095-727-1581 鹿児島オフィス 092-118-8321	〒816-0093 福岡県福岡市博多区那珂3丁目23番2号 ヒロタビル7号 〒854-0074 長崎県長崎市山川町3の13 〒890-0005 鹿児島県鹿児島市下市敷1丁目53番25号 ティアラハイウ102	福岡県/大分県/佐賀県/熊本県 長崎県 鹿児島県/宮崎県
アルパイン京都販売(株)	075-351-6406	〒600-8480 京都府京都市下京区五条通堀川東入小泉町113番地の1	京都府/滋賀県
アルパイン兵庫販売(株)	0794-54-6123	〒675-0067 兵庫県加古川市加古川町河原133の1	兵庫県
アルパイン高知販売(株)	088-884-6800	〒780-8122 高知県高知市高須新町3丁目10番8号	高知県
(株)パルス	098-866-1916	〒900-0003 沖縄県那覇市安波217番地3	沖縄県

修理ご相談窓口

問い合わせ窓口	電話番号	住 所	管轄エリア
アルパインカスタマーズサービス(株) 東日本サービスセンター	048-664-9711	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町2-7-2	北海道/青森県/岩手県/秋田県/山形県/宮城県/福島県/栃木県/茨城県/群馬県/ 東京都/神奈川県/埼玉県/千葉県/新潟県/長野県/山梨県
アルパインカスタマーズサービス(株) 西日本サービスセンター	06-636-4130	〒564-0041 大阪府吹田市泉町3丁目18番14号	静岡県/愛知県/三重県/岐阜県/福井県/山梨県/石川県/滋賀県/京都府/大阪府/ 和歌山県/奈良県/兵庫県/岡山県/広島県/鳥取県/島根県/山口県/香川県/愛媛県/ 徳島県/高知県/福岡県/佐賀県/大分県/熊本県/長崎県/鹿児島県/宮崎県/沖縄県

メニューを表示させた状態により、選択できないメニューがあります。



※1 SYSTEM SEL [System Select]で、SYSTEM 3 [System 3]またはSYSTEM 4 [System 4]を選択したときのみ

※2 PL II MUSIC [Dolby PL II MUSIC]を選択したときのみ

※3 Neo:6 MUSIC [DTS Neo:6 MUSIC]を選択したときのみ

索引

あ 行

イコライザーの調整	30
イコライザーの調整 (DVI-9990J/ TVI-T990接続時のみ)	96
お問い合わせ窓口	109
音像を調整する	58

か 行

外部入力の設定	88
カットオフ周波数調整帯域	38
記憶した値の呼び出し	93
記憶する	90
規格	106
グラフィックEQ	30
クロスオーバーネットワークとは	38
クロスオーバーネットワークの調整/ 位相切りかえ	40
故障かな?と思ったら	104
この説明書の見方	6

さ 行

サブウーハー調整のコツ	44
サラウンド効果を強調する	83
自動調整の準備	12
自動的に時間補正を行う	19
車室内周波数特性の測定	17
手動で時間補正を行う	24
スピーカーセットアップ	51
スピーカーの設定をする	7
スピーカーレベルを調整する	55
スロープ調整	38
セットアップ操作	5
センター幅の調整	81

た 行

電源のON/OFF	7
ドルビーデジタル	103

は 行

ハイパスフィルター	38
ハイレンジ調整のコツ	44
迫力のある大音量再生を楽しむには	70
パラメトリックEQ	30
フロントL/Rにセンターの低域音声を ミキシングする	61
フロントとリアのレベル差の調整	82
保証について	108
補足説明 (自動調整)	23
補足説明 (設定/調整)	49
補足説明 (はじめに)	11
補足説明 (便利な機能)	101

補足説明 (マルチチャンネル機能)	86
本機の操作について	5

ま 行

マルチチャンネル機能の調整手順	50
メニュー階層	110
モニターディスプレイ表示について	102

や 行

用語解説	103
------------	-----

ら 行

リアに低域音声をミキシングする	64
リアにフロントの信号を出力する	67
リニアPCM音声	103
ローパスフィルター	38
ローレンジ調整のコツ	44

A to Z

6.1 CH MODE	75
6.1チャンネルの設定	75
AUTO TCR	19
BI PHANTOM	58
C.BASS SPLIT	61
CENTER WIDTH	81
DIM CONTROL	82
DOLBY DIGITAL EX	103
DOLBY PRO LOGIC II	103
Dolby SP	51
DTS	103
DTS Neo:6	103
DTS-ES	103
DVD LEVEL	72
DVDレベルを調整する	72
H.P.F	38
L.P.F	38
LISTEN MODE	70
LPCM	103
MXの設定	45
OUTPUT LEVEL	55
PANORAMA	83
PCM OUT MODE	78
PCM出力の設定	78
REAR FILL	67
REAR MIX	64
Road EQ使用時のコツ	13
Road EQとは	14
Road EQのON/OFF設定	17
Road EQを使う	14
SP SELECT	7
TCR	24

